

臨時利得稅法中改正法律案特別委員會會議事速記録第四號

昭和十八年二月二十二日(月曜日)午前十時三十分開會

○委員長(伯耆酒井忠正君) 開會致シマス、引續キマシテ質疑應答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松本丞治君 私ハ臨時租稅措置法中改正法ノ「第一條ノ四ニ左ノ一號ヲ加フ」ト云フ、

此ノ條項ニ付キマシテ三御質問ヲ致シタ
イノデアリマスルガ、大體ニ於キマシテ政
府委員ノ御答辯ヲ宜イト思ヒマス、唯一點
ダケ或ハ大藏大臣ニ伺ハナケレバナルマイ
ト思ヒマス、此ノ第一條ノ四ニ新テ追加
サレマス分ハ、即チ所謂株式會社ノ額面以
上ノ株式發行ノ場合ニ於キマシテ、額面ヲ
超ユル金額ニ對シテ今迄利益トシテ課稅ヲ
シテ居リマス、其ノ利益ノ計算ニ關シマシ
テ、命令ヲ特例ヲ設クルコトヲ得ルコトニ
サレヨウト云フコトニナツテ居ルヤウニ思
ヒマス、恐ラクハ命令ヲ以テ此ノ計算ニ付
テ利益トシテハ極メテ僅少ナルコトニ、詰
リ減少スルト云フヤウナコトニサレルノカ
ト考ヘテ居リマス、之ニ付テ伺ヒタイノデ
アリマス、元來額面以上ヲ發行致シマス場
合ノ、額面以上ノ金額ト云フモノハ、是ハ矢
張り株主ガ持ッテ來ル出資デアアルノデ、其
ノ本質カラ申セバ株主ノ出資ニ過ギナイ、
例ヘバ五十圓ト云フ額面ノ株式ニ對シテ六
十圓ヲ出ス、即チ十圓ノ額面超過額ヲ出ス
ト云フノガ此ノ場合デアリマスガ、是ハ六
十圓ト云フ額面ノ株式ニシテ、六十圓ヲ出
スノトハ本質ニ於テハ違ヒハナイ、即チ株

主自體ガ出資トシテ矢張り餘計ナモノヲ出ス、
何トナレバ其ノ事業ガ非常ナ有望ナモノデ
アルカラ、額面以上出シテ宜シイ、額面ノ
金額ハ五十圓デアアルガ、六十圓出スニ當
ルダケノ値打ガアルカラ、六十圓出サウト
云フノデアアルカラ、其ノ十圓ト云フ金額ハ
本質ハ出資ナノデアアル、從ツテ商法ニ於キマ
シテモ、此ノ額面超過額ト云フモノニハ原
則トシマシテ、是ハ全部法定準備金ニ組入
レマシテ、利益トシテノ分配ハ出來ナイノ
デアリマスカラ、斯様ナモノニ之ヲ利益ト
見テ課稅ヲスルト云フコト自體ガ私ハ間違
テ居ルト思フ、現ニ昔ノ所得稅ノ時代ニ於
キマシテ確カ三十年位前ト思ヒマスガ、行
政裁判所ニモ是ハ事件トシテ出マシテ、額
面超過額ノ利益トシテ課稅スルノハ間違ヒ
デアルト云フノデ、餘程、何デモ唯一ツダ
ケデハナカッタカト思フ、二三度爭ハレタコ
トガアルヤウニ思ヒマス、併シナガラ大藏
省ハ常ニ形式的ニ之ヲ觀察サレマシテ、矢
張り利益トシテ課稅サレマス、行政裁判所
デモサウ云フコトニナツテシマッタノデス、
其ノ結果トシテドウ云フコトガ起ツタカト云
フト、其ノ前ニハ額面以上ノ發行ト云フモ
ノハ隨分澤山アリマシタ、殊ニ確カアレハ
世界大戰後ノ「ブーム」ノ時ニモアッタト思
ヒマス、日露戰後ノ「ブーム」ノ時ニモ澤山
額面以上ノ發行ガアッタ、處ガ今ノヤウニ利
益トシテ課稅ヲサレル、自分ガ金ヲ出シテ
置イテ、ソレヲ利益トシテ課稅サレルト云
フコトニナリマシテ、殊ニ稅ガ段々上ツテ參

リマシタカラ之ヲ取ラレテシマヘバ、自分
ガ出シタ金全部ヲ唯政府ニ捲ララレルノ
ダト云フコトニナリマシタカラ、ソレデ額
面超過額ト出スト云フヤウナ馬鹿ナ人間ハ無
クナツタ、此ノ頃ハ一ツモアリマセヌ、ズツ
ト永年アリマセヌ、其ノ結果ハドウナツタカ
ト云フト額面以上デ出シマセヌデ、是ハ新
株ノ發行ニ付テ新株ノ引受權ヲ株主ニ與ヘ
マス、株主ガ額面デ高イ株ヲ賣ツテ、サウシテ
此ノ所謂「プレミアム」ハ株主ガ得ヲシテシ
マフ、此ノ株主ガ「プレミアム」ヲ得シタモ
ノニ對シテハ所得稅法ヤ何カデモ多分課稅
ハ出來ナイ、一時ノ所得稅恐ラク出來マス
マイ、ダカラシテ國家トシテハ詰リ何モ得ル
所ガナイ、稅ハ一ツモ取レナイ、其ノ結果ハ
ドウナツタカト云フト、額面以上ノ發行ヲシ
マセヌカラ、會社ノ財産ノ基礎ト云フモノ
ハ、額面以上ノ發行ガサレル場合ヨリモ惡ク
ナル、額面以上ノ發行ヲ致シマスレバ會社ノ
財産ハソレダケ殖エル、非常ニ會社ノ財産
ノ基礎ハ鞏固ニナル、サウ云フ良イ制度ガ
大藏省ノ誤ツタル解釋ノ結果トシテ得ラレ
クナツテシマッタ、其ノ結果トシテ生ジタ所
ハ何デアアルカト云フト、株主ガ「プレミア
ム」ヲ得ラレル、從ツテ此ノ頃御承知ノヤウニ
増資含ミノ株式ト云フモノガ非常ニアルノ
デアリマス、額面五十圓ノ株ト云フヤウナ
モノデ、左迄多クノ配當ヲシテ居ナイ、増
資ヲ期待シテ百三十圓トカ何トカデ、二倍
増資、三倍増資ト云フヤウナコトデ恐シイ
株ガアルノデアリマス、之ヲ以テ投機ヲシ

テ居ル、詰リ投機獎勵ト云フコトニ……額
面以上ノ金額ニ對シテ課稅ヲスル結果ハ、
額面以上ノ發行ガナクナツテ、サウシテ投機
ヲ獎勵シタ、國庫ノ收入ト云フモノハ全然
無イト云フコトニ歸著シタト、私ハサウ觀
察シテ居リマス、之ヲ今度所謂此ノ利益ト
云フコトノ計算ニ付テ、特例ヲ命令デ設ケル
コトニナスツタノハ大變結構ナコトト思フノ
デ、是ハモウ少シ早クアツテ然ルベカリシコ
トデアアルガ、今デモ御氣付ニナツタノハ遅ク
ハナイ、結構ナコトト思ヒマス、此處デ私
ガ伺ヒタイコトハ、第一ハ、ドウ云フ理由
デナスツタノカ、改正案ヲ作ラレタカト云フ
コト、第二ニハ、私ハ是ハ利益ト云フモノ
ニ殆ド見ナイ位ニ之ヲ下ゲテオシマヒニナ
ラヌト、額面以上ノ發行ヲ獎勵スルコトハ
出來マイト思フ、サウ云フ風ニ澤山御下ゲ
ニナル御積リカ、其ノ命令ハドウ位ニ爲サ
ル御積リカ、大體ノ目度ハドウサレルノデ
アルカト云フコト、ソレカラ第三ニハ、之
ヲオヤリニナツタ以上、資金調整法上ノ關係
ニ於テ、増資ノ場合ニ株主ニ「プレミアム」
ヲ澤山取ラスコトハ餘リ宜クナイ、此ノ爲
ニ只今申シタヤウニ株式ノ投機ト云フヤウ
ナ弊害ヲ生ズルノミナラズ、會社ノ基礎ハ
鞏固ニサレナイ、出來ルダケ額面以上ノ發
行ヲ獎勵サレルコトガ宜イト思フノデアリ
マスルガ、其ノ意味ニ於キマシテ、此ノ利
益ノ計算ヲ非常ニ少イコトニサレテ、餘リ
稅ヲ取ラレナイコトニナル、ト同時ニ、措
置法ノ増資ノ認可ノ場合ニハ、「プレミア

ムノ附クヤウナ株ニ付テハ、原則トシテ額面以上ノ發行ト云フコトニシテ認可ヲサレルノガ當然デヤナカラウカト私ハ思フノデアリマス、之ニ付テ御當局ハドウ御考ニナツテ居ルカト、斯ウ云フ三點ニ付テ伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 先ニ私カラ一應ノ答辯ヲ申上ゲタイト存ジマス、額面超過金額モ株主ノ出捐スル金額デアリマスルコトハ、額面金額ノ場合ト同様デゴザイマスルガ、只今御述ニナリマシタ中ニモアリマスル通りニ、形式ガ違ッテ居リマシテ、額面金額ノ方ハ、額面金額トシテ定メラレタ金額デアリ、額面超過金額ハ、會社ノ狀況如何ニ依リマシテ、ソレ以上ニ或價格ガ評價サレマシテ、ソレヲ株主ガ出捐致シマスルモノデアリマスルカラシテ、稅務當局ノ解釋ト致シマシテハ、額面金額トハ別ニ見ルベキモノデアルト云フ解釋ヲ採ッテ居ル次第デアリマス、之ニ付キマシテ、只今御話ノアリマシタ通り、大正七、八年當時ニ於テハ課稅スベキ課稅スベキモノニ非ザルヤト云フコトニ付キマシテ相當論議ガアッタノデゴザイマスルガ、稅務當局ト致シマシテハ、課稅ノ解釋ヲ採リ、行政裁判所ノ判決ニ依ッテモ支持サレマシタノデ、其ノ後ズツト其ノ說ヲ維持シテ參ッテ來テ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ可否ニ付テハ、或ハ今日尙議論ノ餘地ハアルカモ知レマセヌケレドモ、實情ハ只今申上ゲマシタヤウナ狀況デゴザイマス、質問ノ第一點ハ、今回法人ガ額面以上ノ價格ヲ以テ株式ヲ發行シタ場合ニ於キマシテ、課稅標準ノ特例ヲ設ケルコトニ致シタ理由ハ何處ニ在ルカト云フコトデゴザイマスルガ、是ハ法人ノ資金ノ充實ヲ圖

ルト云フ國家ノ政策ニ對シマシテ、租稅ノ上ニ於テ從來普通ノ利益ト同様ニ課稅シテ差支ナイト云フ理由ヲ以テ臨ンデ來タノデアリマスルガ、重要政策ト租稅政策トノ調和ヲ圖ル意味ニ於キマシテ、特ニ負擔ノ輕減ヲスル必要ヲ認メタヤウナ次第デアリマス、殊ニ今迄ハ額面超過金額ヲ附ケテ發行スルト否トハ、會社ノ任意ニ委サレテアッタノデアリマスルガ、只今御述ニナリマシタ株價對策ノ一ツノ方策トシマシテ、今後ハ額面超過金額ヲ附ケテ發行スルヤウナ場合ニ於キマシテ、必ズシモ從來ノ株主ニノミ引受ケシメルト云フヤウナ方策ヲ採ラヌト云フコトニ、政府ノ方針自體ガ變テ參リマシタノデ、ソレ等ノ政策ト租稅トノ調和ヲ或程度圖ルコトハ必要デアラウト、斯様ニ認メテ今回提案ヲ見ルニ至ッテ次第デアリマス、次ニ課稅ノ輕減ヲスル程度ハ、命令ニ讓ッテアルガ、其ノ程度ハドウノ程度デアアルカト云フ御話デアリマスガ、之ニ付キマシテハ、命令案要綱ヲ御配リシテ置イタノデアリマスルガ、法人ガ増資ニ當リマシテ取得シマシタ額面超過金額ノ總額カラ發行費用ヲ控除サレタ金額ノ五割以上ノ金額ヲ國債ノ保有又ハ設備ノ擴張ニ當テマシタ時ハ、申請ニ依リマシテ額面超過金額ノ五割ヲ所得純益又ハ利益カラ控除スルト云フ風ニ致シテ居リマス、大體ノコトヲ申上ゲレバ、半分ニ見ルト云フコトガ言ヘル次第デアリマス、次ノ御質問デアリマスル臨時資金調整法ノ關係ニ於キマシテ、額面超過金額ノ株式ヲ發行セシメル場合ニ、政府ガドウ云フ方針ヲ以テ臨ムカト云フコトニ付キマシテハ、私ノ所管デゴザイマセヌカラ、此ノコトハ他ノ政府委員、或ハ場合ニ依リマシテ大臣カラ

御答ヘシテ戴カウカト思ッテ居リマス
○國務大臣(賀屋興宣君) 只今ノ御質問ノ第一、第二ニ付キマシテハ、政府委員カラ御答ヘ申上ゲタ通りデアリマス、第三ノ問題ニ付キマシテハ、只今増資ヲ認メマスルヤウナ事業ハ、時局下非常ニ緊要ナ事業ニ大體限ラレテ居ルヤウナ狀態デアリマス、一方此ノ増資ガ速カニ目的ヲ達シマスルト云フ點モ考ヘナケレバナラヌ點ガアリマスルノデ、其ノ事業及其ノ時ノ狀況ニ依リマシテ、舊株主ニ割當テラ度ヲドノ位ニ認メルカ、一般公募、「プレミアム」ヲ附ケマシテノ公募ヲドノ位認メルカト云フコトハ具體的ナ狀況ニ依リマシテ、適當ニ處理ヲシテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス
○松本丞治君 只今ノ御答デ大體満足致シテ居リマスルガ、ドウモ私ノ希望トシテハ、五割ハ少ナ過ギルノデ、モット輕減サレテ宜イノデヤナイカ、性質上ドウモ株主自體ガ出シタ金デ、自分ノ出シタ金ヲ利益トシテ計算スルト云フコト自體ガ、ドウモ理窟カラ言ッテ間違ッテ居ル、サウシテハ商法上ハ配當モ何モ出來ナイノデ、法定準備金ニ入レナケレバナラヌコトニナツテ居ル、ソコニ課稅ヲサレルコト自體ガ間違ナンダカラ、寧ろ是ハ全部課稅サレナイノガ本當ト思フノデスガ、五割ト云フ刻ミ方ハドウモ足リナイヤウデ私ハ不満足デスガ、是ハマア御決ニナツテ居ル、大體サウ云フ御考デゴザイマセウカラ、收入其ノ他ノ關係デ今更御變更モ出來ヌノカモ知レマセヌガ、此ノ點ニ付テハ十分一ツ御考ヲ願ヒタイト思フ、ソレカラ第三ノコトハ、増資ヲ要スルヤウナ事業ハ時局ニ非常ニ必要ナ仕事デア

ル、サウ云フ時局ニ必要ナ仕事ヤル會社ノ資本關係ハ、出來ルダケ財産關係ヲ鞏固ニスルコトガ必要ナンデ、ソレニハ出來ルダケ此ノ額面超過額ヲ會社自身ニ保有サスト云フコトガ必要ナンデアル、加之、サウ云フ事業ガ是カラ金ヲ使ッテ新ナル設備ヲ爲サル場合ニハ、此ノ頃ノ金ノ値段カラ申シマス、ナカノ澤山ノ物ハ出來マセヌ、今迄千萬圓デ出來タ物ハ三千萬圓モ四千萬圓モ掛ルト思フ、サウ云フ時代ニ於キマシテ、詰リ資本ノ表面ノ價額ハ同ジデアリマシテモ、之ヲ物ニシテ働カス場合ノ値打ガ下ッテ居ルト云フ場合ニ於キマシテハ、出來ルダケ此ノ會社ノ財産ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル爲ニ額面超過額ヲ出サシテ、其ノ金ヲ會社デ使フト云フコトニスルノガ、私ハ政策上必要ナコトデアルト思フ、只今ノ御答ダト、色々ノ事情モツアテ、各場合ニ具體的ニ適當ニヤルト云フ御話デ、一時ニ私ハソレヲ全部額面超過ニナサイト言ッタッテ、是ハチヨット無理モアラウト思フ、併シ今ノ色々株價ト睨ミ合セテ、無理ナモノハ仕方ハゴザイマセヌガ、是カラ先ハ額面超過額ズツトヤラスコトニスルノダト云フ位ノ御考ヲ決メテ戴クノガ本當デアラウ、而シテサウ爲サル爲ニハ五割ダケハ少シ足リナイヤウニ思フ、ソコラハ、只今直グ御實行ニナル場合ニハ、幾ラ申上ゲテモ御變ヘニナルコトハ出來ヌカモ知レマセヌガ、先ニ行キマシテハ、私ノ申サユウナ方向ニ向ッテ御考ニナツテ、段々御改ニナルコトガ必要デヤナカラウカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、是ハ質問デハナイノデ、意見ヲ開陳致シテ置キマス
○子爵大河内輝耕君 只今松本博士カラ色々詳シイ御質問ガアツテ、私モ誠ニ御尤モダ

ト思ヒマスガ、其ノ政策上ノコトハ私姑ク別ト致シマシテ、斯ウ云フ收入ト云フモノハ普通所得ト云フノモチヨットラカシイト思フ、法律關係ハ私ハ能ク存ジマセスケレドモ、ドウモ常識カラ見テモ、矢張り退職資金ヲ賞ツタトカ賞與ヲ賞ツタトカト云フノト同ジヤウナモノデ、ソレトノ權衡ハドウデゴザイマセウカ、幾ラカ伺ツタ所デハ、此ノ方ガズット手厳シイヤウニ思ヒマスガ、ドウデセウカ

○政府委員(松隈秀雄君) 是モ私カラ一應御答辯ヲ申上ゲマス、額面超過金額ニ付キマシテハ、個人ガ之ヲ受取りマシタ場合ニ於キマシテハ、誠ニ只今御話ノヤウニ、退職金ヲ賞ツタトデモ見ルベキヤウナ、謂ハバウマイ所得ノヤウナモノデゴザイマスノデ、是ハ課税シテ居ラナイノデゴザイマス、會社ガ額面超過金ヲ受入レタ場合ニ於キマシテ之ヲ利益ト見ルカドウカト云フコトニ付テ可否ノ議論ガアリ、サウシテ行政裁判所ノ判決デモ勝訴ニナリマシタノデ、今其ノ政策ヲ續ケテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙「プレミアム」ニ付キマシテハ、私カラ申上ゲル迄モナク、多ク「プレミアム」ノ附キマスヤウナ會社ハ、積立金モ相當アルヤウナ優良會社デゴザイマス、「プレミアム」ニ付キマシテハ、積立金ガ資本ノ四分ノ一ニナル迄ハ全額ヲ積立テナケレバナラナイノデアリマスルケレドモ、四分ノ一以上ヲ超エテ居ルヤウナ場合ニハ、會社ガ「プレミアム」ヲ配當ニ廻シテモ何シテモ宜シイ、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居リマスルノデ、其ノ點ハ大分他ノ利益ト似テ居ル點ガアルノデゴザイマス、概シテ申上ゲマスレバ、大體ハ積立金ノ多イヤウナ會社ノ場合ニ「プレミアム」

ガ附ク、從ッテ「プレミアム」ハ他ノ利益ト同様ニ配當其ノ他ニ當テ得ルト云フヤウナ餘地モゴザイマスルノデ、旁、以テ從來課税說ヲ採ッテ參ツタノデゴザイマスルガ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、今回ハ政府ノ政策ガ轉換サレマシタノデ、ソレニ伴ッテ從來ノ課税說ヲ或程度負擔ノ緩和ヲ圖ルト斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデ、其ノ程度ヲ一應先程申上ゲタヤウニ五割トシタノデアリマスルガ、是ハマア一種ノ腰溜メデアリマシテ、御議論ハアルト思フノデアリマスガ、我々ト致シマシテハ五割引クト云フコトハ相當負擔ノ緩和ニ付テ考慮シテ居ル積リデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマス、個人ノ方ノ一時的ノ所得ハ課税ヲシテ居ナイ、ソレカラコナラノ方ノ會社ノ一時的所得ナラ課税スルンダト云フ、其處ノ區別ガハッキリシマセスガ、モウ一應御説明願ヒタイ、ドウ云フ譯デサウ云フ風ニナルノカ……

○政府委員(松隈秀雄君) 個人ニ付キマシテハ、税法ニ乙種ノ事業所得中營利ノ目的トスル繼續ノ行爲カラ生ジタモノデナイ一時ノ所得ニハ課税シナイト云フ規定ガ明カニアルノデアリマス、法人ノ方ニ付キマシテハサウ云フ規定ガゴザイマセヌ、法人ハ總益金カラ總損金ヲ控除シタモノヲ以テ利益トスルト云フ建前ニナツテ居リマス、其ノ總益金ハ一時的ノ所得デアラウト、反覆繰返シテ來ル所得デアラウト、皆總益金ヲ構成スルト、斯ウ云フ建前ニナツテ居リマス、ソコデ「プレミアム」ノヤウナモノデアリマシテモ、總益金ニ見ルト斯ウ云フ解釋ヲ從來採ッテ參ツテ居リマス

タ、ソレデ大臣ニ伺ヒマスガ是ハ立法論デス、立法論デスガ、ドウモ雙方權衡ヲ得ナクハナイカ、會社ノ一時的ノ所得ニハ掛ケル、個人ノ一時的ノ所得ニハ掛ケナイト云フハ不權衡ダラウト思ヒマス、其ノ點ガ一點、ソレカラ今日ノ生産擴充ト云フヤウナ點トカ或ハ公債ノ募集ト云フヤウナ點カラ云ッテモ之ヲ掛ケナイ方ガ宜クハナイカ、掛ケナイデサウシテ政府ノ思フヤウナ用途ニデモ用ヒサセタ方ガ宜クハナイカト斯ウ思ハレマスガ、其ノ點ガ第二、ソレカラ第三ト致シマシテハ、一時的ノ所得ト云フハ何デスガ、一時的ノ收入ハマルツキリ掛ケナイト云フノモ少シ行キ過ギテ居ルヤウニモ思ヒマスガ、何カ斯ウ云フモノヲ物ニ依ッテ分ケテハイケマセスカ、個人ノモ法人ノモ何モ彼モ同ジダト云フコトハイケナイノデヤナイカ、相當ニ性質ヲ分ケテヤルト云フヤウナ御考デモアリマスマイカ、ソレハ立法論ニナリマスカラ、何デス、政府委員カラ御答ニナツテモ宜シウゴザイマスガ、尙大臣カラモ、御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 個人ノ所得ニ付キマシテハ、經常的ニ毎年アリマスルモノト一時的ノ所得ニ付キマシテ、相當負擔力ノ區分ハアリ得ルト云フ考ヘガ基礎ニ一ツアリマスルノデ、併シ其ノ負擔力ニ區分ハアリマスケレドモ、是ハ主トシテ果進ノ點カラ參リマスノデアリマスルガ、負擔力ガアルト云フ考ヘ方ハ致シテ居リマス、ソレデ例ヘバ會社等ノ仕事ニ從事致シタ人ノ退職給與金ニ付キマシテモ、法人ノ所得ヨリ違ヒマシタ率ノ課税モ現ニ致シテ居ル譯デアリマス、其ノ他不動産、鑛業權等ノ讓渡ニ付キマシテ利益ガアリマシタ場合ノ課税

ノ方法ガ出來テ居リマス、大體一時所得ニモソレニ應ジタ課税ヲスルト云フ方針デ居ル譯デアリマス、只今述べラレマシタノハ株式ノ讓渡利益ニ對スル課税ノ問題デアリマス、之ヲ打明ケテ申上ゲマス、今回ノ法律案ノ原案ヲ作リマス時ニモ相當考慮致シマシタ、色々ナ關係デ今回マダ提案ヲスル運ビニ參リマセヌノデアリマス、是ハ、性質論トシテハ若干ノ課税ヲ寧ロシテ宜シイ、シナイデ置クノハドウカト思フ點ガアリマス、尙今後研究ヲ致シタイト思ヒマス、方針ニ付キマシテハ利得税以外ハ超過的累進的ノ觀念モアリマセヌノデ、全然個人ト法人ト同様ニ扱フト云フ點ニ於テハ相當區分シテ宜シイ今ノ税制ノ上カラノ點モアリマス、ソレカラ尙是ハ私ハ斷定的ニハ申上ゲラレマセヌノデアリマスルガ「プレミアム」ヲ生ズルヤウナ原因ニナリマスルコトガ全ク其ノ會社ノ株主、従業員、役員等ノ非常ナル勉強ノ結果起ル場合モアリマスルガ、矢張り是ハ基本ニ於テ國家全體ノ動向其ノ他ノ原因カラサウ云フ風ナ結果生ズル場合ガ相當多イノデアリマス、是等ニ付キマシテモ全然ソコデ負擔力ヲ見ナイト云フ、負擔ノ上カラ申シマスレバ見テモ宜シイト云フ點モアルヤウニモ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレト外ノ意味ノ松本委員モ御述ニナリマシタヤウナ點ニ色々ナ考慮ノ結果、其ノ綜合點ト申シマスカ、競合點ト申シマスカ、點ガ今回ノ措置トシテ現レタヤウニ考ヘテ居リマスノデ、個人ノ株式ノ結局一時

的利得ニ對スル問題ハ今後尙研究致シマシテ、適當ノ處置ヲ執リタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 今ノ點デ能ク分リマ

シタケレドモ、併シ尙是ハ生産擴充、或ハ公債ノ應募、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ時局ニ應ズルト云フ點カラ、サウ簡單ニ片付ケラレル問題デハ私ハナカラウト思フ、一々言ッテ居タラ大變長クナリマスカラ……、ソレカラ個人トノ權衡ニ付キマシテモ、今少シ御考ニナル必要ガアリヤシナイカ、兎ニ角事務的ニハ立派ニ出來テ居リマスケレドモ、唯事務ダケデ行カクナッテシマッテ、此ノ頃ハ生産ダトカ、戰時ダトカ、色々細カイ條件ニナッテ來マシタノデスカラ、モウ少シ詳細ニ御研究ニナッテ オヤリニナル必要ガアラウカト思ヒマス、是ハ希望トシテ述ベテ置キマス

○松本丞治君 今政府委員ノ仰シヤツタ所ニ少シ事實ト違フコトガアルヤウニ思フ、ソレハ法定準備金ハ資本金ノ四分ノ一迄積ムノゾ、其ノ以上ノモノハ配當ガ出來ルカラ額面超過額デモ配當出來ル、増資ヲシテ大イニ「プレミアム」ノ取レルヤウナ會社ハ非常ニ積立金ガ多イ會社ダト云フ御話デアツタガ、是ハ少シ事實ガ違フ、法定準備金ヲソナンニ持ッテ居ルヤウナ會社デドノ増資ヲシテ行クモノハ餘リアリマセヌ、是ハ事實恐ラク餘リ御承知ニナラナイト思フ、例ヘバ第一銀行トカ或ハ横濱正金ト云フヤウナ非常ナ大キナ積立金ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ所デハ、増資ハナイシ、第一銀行ハアリマシタガ、是ハマア特別ノ意味デ、額面超過デナカッタノデアリマセウ、通常増資ガ盛ニ今行ハレテ居ルノハ、御承知ノヤウニ新シイ工業、新シイ會社デス、大概……、小サナ會社ガ急ニ伸ビテ行ク時、非常ナ勢ヒデ増資々々ト重テ伸ビテ行キマスカラ、法定準備金ハ法定ダケシカ積ンデ居リマセ

ヌ、サウ云フ所ノ會社ハ餘裕ハアリマス、餘裕ハアリマスケレドモ、ソレハ所謂秘密積立金、詰リ償却ヲ非常ニ餘計スルト云フヤウナコトデ、實際ニ於テハソレハ餘裕ハアル、本當ノ意味ニ於テ經濟的ナ意味ノ積立金ハ澤山アリマス、併シナガラ法定準備金トシテ出テ居ルモノガ非常ニ澤山アツテ、後ノ餘テ來タ額面超過額ヲドノ配當出來ルト云フヤウナ状態ニアルモノハアルカドウカ知りマセヌ、幾ラカアルカモ知レマセヌガ、是ハ極メテ少數ト思ヒマス、其ノ點ハチヨット事實ニ反スルカト思ヒマシテ御注意申上ゲマス、ソコデ私ハ今ノヤウナ御懸念モアレバ、輕減ノ額ニ付テ既ニ法定準備金ヲ澤山持ッテ居ッテ、利益トシテ配當出來ルヤウナ状態ニアルモノト然ラザルモノトニ分ケテ、サウシテ何割ト云フ輕減ノ額ヲ違ヘテ定メルノモ命令一ツノ定メ方デハナイカ、サウ云フコトモ出來マセヌカ、ソナンコトニ付テモ十分一ツ御考ヲ願ヒタイ、ソレカラ大臣ノ今ノ御話デ擔稅能力ガアルト云フコトデスガ、是ハ其ノ時ニ御取リニナルト出來ナイカラ、ソレデ額面超過額ヲ澤山取ラレテ置イテ、サウシテドノ利益ヲ擧ゲサシテ、サウシテ臨時利得稅デモ何シデモ澤山其ノ法人カラ御取ニナツタラ宜イ、サウシテ基礎ヲ確ニシテ、ソレカラ御取ニナル方ガ宜イ、元デ取ラウ、何シテ口額面超過額ニシロ、何ニシロ、ソコデ取ッテシマフト云フコトハ、是ハ相當考ヘモノダ、サウ云フ會社ノ、先程モ申シタヤウニ

常状態ニ戻ク時ニドウ云フ利益關係ニナルカト云フコトニ付テハ相當心配シナケレバナラヌコトモアラウト思フ、サウ云フモノハ成ルベク超過額ノ會社ニ保有サシテ、サウシテ基礎ヲ鞏固ニシテヤツテ行クコトガ必要デ、ソレハ大イニ儲ケタラ儲ケタラカラドノ御取ニナツタラ宜クハナイカト云フヤウニ私ハ考ヘル、是モ意見デ、是ハ唯御參考ニ申述ベテ置キマス、御答辯ハ別ニ要リマセヌ

○子爵大河内輝耕君 實ハ外ノ政府委員ガオイデニナツタ時デモ……外ノ政府委員ハオイデニナリマスカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 内務省ノ地方局長ガ居リマス

○子爵大河内輝耕君 短イ方カラヤツテ参リマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 尙申シマス、厚生省ノ労働局長モ見エテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 一番先ニ山林局長ニ願ヒマス、一昨日私ノ問ヒガ甚ダ不明デアツタ爲ニ、多小政府委員ガ誤解ヲサレタヤウナ氣味ガアリマスデ、此ノ際改メテ質問申上ゲマス、施業案モナシ、立木伐採計畫モナイモノニ付キマシテハ、昭和十年カラ十二年迄ノ平均ニ依リマシテ、之ヲ基準トシテ課稅ヲ決メラレルト云フコトガ相當デアアル、斯ウ私ハ申上ゲタノデスガ、餘リ言ヒ方ガ拙カッタ爲ニ、山林局長御分リナカッタヤウデシタガ、此ノ際改メテ御意見ヲ伺ヒマス

合ニ於キマスル山林ノ取得ニ對シマシテハ、出來マスルナラバ、御話ノヤウナ工合ニ致シマシテ、超過所得ヲ算出シテ、ソレニ對シテ今度ノ稅ノ恩典ヲ受ケサセルヤウニ出來マスレバ、最モ私共トシマシテハ結構ナコトデアルト思ッテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ尙此ノ實施ニ當リマシテ色々命令ヲ主務省ニ於テ御決ニナル際ニ、私共カラモ色々御願ヲ致シマシテ、出來ルダケ御希望ニ副フヤウニ努メタイト、斯様ニ存ジテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ點ハ財政當局ニ於キマシテモ十分御留意下スッテ御決ニナルヤウニ願ヒタイト思ヒマス、ソレデ山林局長ニ對スル質問ハシマヒマス、次ニ厚生省ノ御方ニ伺ヒマスガ、大分間接稅ガ上リマシタノデ、伺ヒタイノデスガ、勞銀調ハ此處ニ參考書トシテ出テ居リマス、私モ受取ッテ頂戴シテ居ルノデスガ、餘リ煩瑣ナンド、極ク簡單ニ大體ノコトヲ伺ヘバ宜シイノデスガ、農村ニ於ケル労働者ノ所得、又工場ニ於ケル労働者ノ所得、一々言ヒ出シタラ切リモアリマセヌガ、大體我々ノ素人ノ分ルヤウニ、大體ドナンモノデセウカ、伺ヒタイノデス

○政府委員(持永義夫君) 工場鑛山ニ於キマスル賃金ノ統制ノヤリ方ト、ソレカラ農村等ニ於キマスル、殊ニ日傭労働者ノ賃金統制ノヤリ方ハ多少違ッテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 統制デヤナイノデスヨ、ドノ位迄認メラレテ居ルカ……

○政府委員(持永義夫君) 金額デゴザイマスガ、ソレカラ御話シナイトチヨット分リ難イノデスガ、工場鑛山ノ場合ニ於キマシテハ、大體未経験者ガ工場ニ入りマス際ノ

ミ個人ノ金額ヲ抑ヘテ居リマス、其ノ外ハ
經驗工ニ付キマシテハ、原則トシテ金額ノ
抑制ハ致シテ居リマセヌ、從テ總額ノ制限
ガ勞務者ノ技能ニ應ジテ適宜出スト云フコ
トニナツテ居ルノデス、デスカラ工場デ言ヒ
マスト、或ハ働キ盛リノ者ガ三圓五十錢ト
五圓ト云フノガ普通ニナリマサガ、鑛山ニ
ナリマスト、多少高クナリマス、四圓或ハ
五圓前後ニナリマス、サウ云フ風ニ個人ノ
經驗工ノ賃金ハ幾ラト云フ風ニ決メテ居リ
マセヌカラ、從テ今此處デ幾ラト云フコト
ハ申上ゲラレマセヌ、大體ノ情勢トシテハ
サウ云フコトデアリマス、唯非常ニ個人的
ノ所得ガ多イト云フ場合ニ於キマシテハ、
ソレヲ抑制シ得ル規定ハゴザイマス、個人
ノ、例ヘバ一日ニ何百圓ト云フヤウナコト
ガアツテハイケマセヌカラ、サウ云フ場合ニ
ハ、ソレヲ規正スル、然ラザル場合ニハ總
額ノ範圍内ニ於テ事業主ガ適宜技能ニ應ジ
テ出ス、斯ウ云フコトニ致シテ居リマス、
ソレカラ日傭労働者ノ方ハ、是ハ色々地方
ニ依テ異ツテ居リマサガ、是モ御話ノヤウ
ニ田植トカ色々ノ仕事ガアリマスカラ、ソ
レニ對シテ區別シテ行カケレバナラヌ、
ソレデ普通ノ農村ノ日傭労働者ノ普通ノ仕
事ハ、大體一圓八十錢カ二圓四十錢ト云フ
ノガ普通ノ公定額デアリマス、是ハ個人ニ
對スル公定額デゴザイマス、但シ二圓四十
錢ト申シマシテモ、例ヘバ非常ニ特殊ナ困
難ナ仕事ニ從事スルト云フ場合ニ於キマシ
テハ、之ヲ三割以内増額スルト云フ規定モ
ゴザイマス、ソレカラ又地方ニ依リマシテ
ハ、請負制ヲ實施シテ居ル所モアリマス、
サウ云フ場合ニ於テハ、請負制ノ方法トシ

テ三割迄増額シ得ルト云フ風ナコトニ相成ッ
テ居リマス、大體基礎ハ一圓八十錢カラ最
高二圓四十錢ト云フコトニ御承知願ヘバ宜
シイカト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 今度ハ主税局長ニ伺
ヒマスガ、今度ノ増稅デ酒ガ一升幾ラニナ
リマセヌカ、大衆向ノ酒ガ……

○政府委員松隈秀雄君 大衆向ノ酒ト致
シマシテハ、清酒デアリマスレバ、三級酒、
四級酒デアアルト思フノデアリマス、清酒ノ第
三級酒ノ改正見込價格ハ一升壘詰デ三圓五
十錢、ソレカラ第四級酒ハ、同ジク一升壘詰
デ三圓三十錢、ソレカラ合成清酒ノ第二級
酒ガ矢張り同ジヤウナ意味デ大衆的ト言ハ
レルト思ヒマスガ、是ハ一升壘詰デ改正見
込價格ガ三圓三十錢、詰リ清酒ノ第四級酒
ト同様デアリマス、次ニ燒酎デアリマスルガ、
燒酎ハ新式燒酎ハ一升壘詰デ改正見込價格
ガ三圓五十錢、大體此ノ程度ノモノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ外ニ米ノ値段ヲ
伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハモウ分り切ッ
テ居リマスカラ止シテ置キマス、ソレデ大
藏大臣ニ伺ヒマスガ、生産擴充ノ立場カラ
酒ト云フモノハ勿論必要ナ物デアアル、煙草
ト云フモノモ必要ナ物デアアル、實ハ酒ヲ飲
ムシテ、ソレダケ働カシテヤリタイト私達
モ思フ、承ツテ見ルト、收入ノ割合ニ酒ノ
方モ今度ハ上リマシ、少シ氣ノ毒ナ氣モ
致シマス、氣ノ毒ト思フダケデナク、生産
擴充ノ上カラドウカト思ヒマス、是ハ如
何デセウカ、サウ云フ人達ニ限ツテソレハ
幾ラカ安クサレテ居ルコトハ何ッテ居リマ
スケレドモ、ドウモマダ少シ緩和サレ方ガ
足ラナクハナイカ、思切ツテサウ云フ人ニ
ハ或程度迄ハ只デ飲マシテヤッテモ宜イ位

ニ私共思フノデスガ、ドツチ途其ノ爲ニ酒
ヲ澤山飲ンデ困ルカト云フト、配給ノ方デ
モ兎ニ角ドウニデモ出來ルシ造ル方ガ制限
サレテ居リマスカラ、其ノ位ノコトハ出來
ヨウト思ヒマス、煙草ノ方ハ幸ニシテ今デ
モアルカモ知レマセヌガ、「ホマレ」ト云フモ
ノガアツテ、軍隊ニ對シテ非常ニ廉ク賣ッテ
居ル所ガアリマス、酒ノ方ダツテサウ云フ
コトヲヤレバ出來ナイコトハナイト思ヒマ
スガ、何かサウ云フコトヲシテ思切ツテ御下
見込ハ如何デセウカ、尙其ノ範圍ニ付テ法律
デ決ツテ居リマス範圍ヨリモモツト擴ゲテ、サ
ウシテ重要生産事業ニ對シテハモツト擴ゲテ
モ宜イカト思フ、殊ニ農業家ナドニハヤツッ
テ宜イト思フ、ソコラ迄ハ擴ゲテサウシテ特
別ノ定價ノモノデモオヤリニナルヤウナコ
トニ爲サレルトコトガ必要デヤナイカト思ヒマ
ス、大臣ノ大體ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣賀屋興宣君 此ノ前ニモ申上
ゲタカト思ヒマスルガ、今回ノ間接稅ノ増
徴ハ私ハ稅制ノ上デハ相當特色ガアルヤウ
ニ存ジテ居リマス、負擔力ニ應ジテ同時ニ
其ノ消費ノ方向ガ奢侈的方向ニ重課スルト
云フヤウナ意味デ、或意味ニ於テハ直接稅
ニ似タ色彩ガ非常ニアリマス、一般ノ賣上
稅、販賣稅、其ノ外ノ從來ノ均等課稅ノ間
接稅ト非常ニ趣旨ガ違ヘテアルノデアリマ
ス、酒、煙草ハ今御述ニナリマシタガ、砂
糖ニ致シマシテモ、家庭用ノモノニハサシ
テ販賣價格ニ從ヘバ殆ド言フニ足リナイ小
さい程度デゴザイマシテ、物品稅ニ致シマ
シテモ、質素ナ生活ヲ致シマス爲ニハ殆ド
課稅ガナイ、或ハアリマシテモ極メテ微弱
デアリマス、遊興稅固ヨリデアリマス、飲

食稅ナドニ付キマシテモ、一回一圓五十錢ト
云フ最低課稅ノ限度ハ其ノ儘ニ据置イテア
リマス、入場稅ニ付キマシテモ、課稅最低
限即チ最低稅率ハ其ノ儘据置イテアル
ノデアリマシテ、特別行爲稅ニ付キマシテモ、例
ヘバ婦女子ノ結髪、男子ノ散髪、是ハ一圓
以下ハ無稅デアリマス、サウ云フ風ナ部分
ノ考慮ヲ全面的ニ致シマシテ、戰時下ニ於
テツマシイ生活ヲスルナラバ、餘リ課稅ノ
影響ハ受ケナイ程度ニ全體ノ配慮ヲ致シテ
居ルヤウナ次第デアリマス、酒ト煙草ハ稍、
增加率ガキツウゴザイマスガ、是ナドハ私
ハ元々酒モ煙草モ全部ガ飲マナイ方ガ宜イ
ト思ツテ居リマス、唯現在既ニ飲酒喫煙ノ習
慣ノアル人ニ、ソレヲ絕對ニ禁止スルトカ、
或ハ少ク致シマスコトハ、其ノ人ノ能率ニ
障害ヲ及ス、是亦事實デアリマス、其ノ點
ノ調和ヲ相當考ヘタイト云フ考ヘ方ヲ致シ
テ居リマス、酒ニ付キマシテハ、清酒及ビ
合成清酒ヲ合計シテ五十万石、相當大キナ
數デアリマス、煙草モ、金鶏ノ如キハ四十億
本、其ノ外ニ酒ニ付キマシテハ燒酎、「ビー
ル」等ニ付テモ相當ノ數量ヲ現在ノ價格其
ノ儘デ、重要ナル産業、農業ノ方面ニハ配
給ヲスルト云フコトニ致シテモ居リマスノ
デ、只今ノ御意見ト程度ノ差ハアリマスル
ガ、其ノ方面ニ付キマシテハ他ノ方面ヨリ
モ非常ニ緩和デアリマス、又所謂重要産業
ニ從事セザル國民ト雖モ、今日ハ有ラユル
總力戰ノ結果、戰時生活ト云フモノハ非常
ナ苦痛ト努力ヲ要スルヤウニナツテ居リマ
ス、若シモ其ノ人ガ苦痛ト努力ヲ餘リ感ジ
ナイト云フナラバ、其ノ人ガ國民トシテノ
自覺ガ足ラナイノダト思ツテ居リマス、サ
ウ云フ時代デアリマスノデ、正直ニ申シマ

第四部第一四類 臨時利得稅法中改正法律案特別委員會議事速記錄第四號 昭和十八年二月二十二日 貴族院

スト、重要産業ニ從事スル人々モ亦相當自
肅スル必要モアルヤウニモ私ハ考ヘマス
ルノデ、只今ノ處、ソレニ付キマシテハ稅
制ノ上カラモ、亦事實ノ配給ノ上カラモ相
當ノ處置ヲ執リ、所謂料理店、飲食店等ノ
配給ハ大イニ減シ、家庭用モ遺憾ナガラ餘
リ増加シ得ズ、全部ノ數量モ今ノ重要産業
ノ方ニ向ケテ居ルヤウナ點デアリマス、斯
ウ云フ方面ガ緊縮ヲ致ス必要ガアリマス
ノデ、何レモ其ノ部面カラ申シマシタラ
不十分デアリマセウガ、相當ノ範圍ニ於
テ施設ハ致シテアル、斯様ニ考ヘテ居リ
マス

○子爵大河内輝耕君 相當ニ施設ヲ御考ニ
ナツタ點ハ私モ能ク分ツテ居ルノデスガ、唯、
是ハ議論ニナリマスケレドモ、酒ヤ煙草ニ
對スル同情ガ少々大藏大臣ハ足りナクハナ
イカト私思フノデス、酒ハ飲マナイ方ガ宜
イト仰シヤルケレドモ、是ハ無理ナンデ、
草臥レタ時ニ酒ヲ飲ムノハ當リ前ノ話デ、
是ガアルカラ、治ツテ行ク、止メタ方ガ宜イ
ト仰シヤルケレドモ、是ハ三千年來ノ習慣
デスカラ止メラレルモノデヤナイ、ソレヲ
相當酒ヲ飲マセルノハ藥ヲ服マセルノト同
ジデ、無暗ニ飲ンデ家産ヲ破ルヤウナコト
ヲシテハソレハイケマセヌケレドモ、相當
酒ヲ飲ムコトヲ……飲マヌ方ガ宜イト仰シ
ヤル見解ハ少シ考ヘ直シテ戴キタイト思フ
ノデス、併シ是ハ議論ニナリマスカラ申シ
マセヌ、ソレカラ主稅局長ニ伺ヒマスガ、
今緩和サレタ點デスガ、或種ノ勞働者ニ對
シテハ安クナツテ居ルヤウデスガ、私ノ
承ル所デハ、軍ノ管理工場ダケノヤウニ
聞イテ居リマスガ、如何デスカ、モウ少
シ廣イノデスカ、ドンナ風ニナツテ居リマ

スカ

○政府委員(松隈秀雄君) 今回清酒及ビ合
成清酒、併セテ約五十萬石、燒酎約六萬石、
「ビール」約十二萬石程度ニ付キマシテハ、
特ニ増稅ノ負擔ノナイ低廉ナル價格ノ酒類
ヲ配給致シタイト思フテ居ルノデアリマス
ガ、此ノ配給先ト致シマシテハ、今迄モ特
配ヲ致シテ居リマシタヤウナ先、即チ重要
産業ト認メラル、モノニ從事スル勞務者、
農林水産業等ニ從事スル者等デゴザイマス
ガ、詳シクハ酒類委員會決メマスガ、今
ノ處豫定トシテ考ヘテ居リマスモノハ、サ
ウ狹イ範圍デハナイノデゴザイマシテ、例
ヘバ軍需作業廳勞務者、炭礦鑛山勞務者、
重要時局産業ノ勞務者ト致シマシテハ、金
屬工業、機械器具工業、化學工業、窯業及
ビ土石採取工業、電氣瓦斯及ビ水道事務勞
務者、交通運輸事業勞務者、土木建築勞務
者ト云フヤウナ風ニ範圍ヲ考ヘマシテ、是
等ノ勞務者ニ付キマシテハ、其ノ勤勞ノ難
易、體力恢復ノ爲ニ酒ヲ必要トスル程度、
其ノ他等ヲ勘案シマシテ適當ニ等級ヲ分チ
マシテ、一人當リノ平均配給量ヲ定メタイト
思ヒマス、其ノ場合ニ於キマシテモ、更ニ
其ノ中デモ強飲者ト弱飲者トニ付キマシテ
ハ、配給擔當者ノ側ニ於テ適當ニ差等ヲ設
ケルヤウニシテ貰ヒタイト思フテ居リマス
ヤウナ次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 今伺ヒ違ヒシタカ知
レマセヌガ、軍ノ工場トカ云フヤウナノガ
アツクデアリマスガ、軍ノ工場ガ入レバ軍
ノ管理工場ト云フノモ入ルデセウカ、ソレ
カラ色々事業ヲ御讀上ゲニナリマシタカラ、
ソレガ全部入ルトスルト、重要産業ハ官タ
ルト民タルトヲ問ハズ、全部入ルト、サウ

解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) ソレハ今カラ各
省協議シテ決メマスノデ、全部入ルトハ申
上ゲ兼ネマスガ、所謂軍直屬ノ工場ノヤウ
ナモノハ相當入ルト思ヒマス、モウ一ツ誤
解ノナイヤウニ申シテ置キマスガ、サウ云
フ方面ノ酒ガ全部低廉ナ價格ト云フヤウナ
コトデアリマセヌ、今政府委員ノ申上ゲ
マシタヤウニ、清酒及合成清酒五十萬石、
「ビール」、燒酎其ノ他合セマシテ約六十餘
萬石ニ限リマシテ、之ヲ私共假ニ價格ノ特
配ト申シタイト思ヒマス、其ノ方面ニ行キ
マス酒ノ總量ト云フモノハ、酒全體ノ總量
カラ割出シテ居ルノデアリマス、是ナドハ
寧ロ平均以上ニ行キマスノデ、數量ノ特配
トモ申シテ宜シイト思ヒマス、其處ヘ行ク
數量ハ、全部特價ニナルト云フコトデア
リマセヌノデ、今申上ゲマシタ總量六十餘
萬石限度ノモノヲ、緩急ト申シマスカ、必
要ニ應ジテヤル方面ハ協議シテ先ツ範圍ヲ
定メマシテ、範圍ノ中デモ其ノ數量ヲ定メ
テ特配ヲスル、斯ウ云フ意味デアリマシテ、
詰リ價格ト數量ハ必ズシモ一致シナイ、斯
ウ云フ點ヲ一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマ
ス、ソレカラ尙先程大河内委員ノ御話ガア
リマシタガ、私ノ言葉ガ甚ダ足りマセヌデ、
實ハ斯ウ云フコトヲ申上ゲテ恐入リマスガ、
私モ酒ヲ飲ム習慣ヲ持ツテ居リマシテ、實ハ
斯ウ云フコトハヨクナイト思フテ居リマスガ、
三千年來ノ……私共トシマシテモ五六十年
來ノ習慣ト云フ譯デ、廢シタ場合ニ……今
サウ云フ習慣ガアルモノヲ絕對ニ廢止スル
譯ニイガナイト云フコトハ、是ハ私モサ
ウハ思ヒマスノデ、ソレハ已ムヲ得ナイ、
私ノ理想論カラ申セバ、初メカラ飲マナケ

レバ、是ガ一番能率ガ上ルノデヤナイカト
思ヒマスガ、ソレヲ今取ルト云フ意味デハ
アリマセヌガ、併シ酒ニ付キマシテモ煙草
ニ付キマシテモ、本年度ノ如キハ酒ノ造石
數ガ非常ニ減ツテ居リマス、煙草ハチットモ
製造數量ハ増シテ居リマセヌ、若干減ツテ居
リマス、是ハ何故斯ウ云フ風ニナルカト云
フ理由、是モ十分御承知トハ存ジマスガ、
何様酒ノ原料ハ、米ニシマシテモ麥ニシマ
シテモ、皆主要食糧品デアリ、全體ノ需給
ノ上カラハ、今非常ニ大切ナル輸送力ヲ使ッ
テ、南方其ノ他カラノ輸送ヲ必要トスル場
合デアリマスノデ、ドウシテモ主要食糧品
ノ全供給量ト云フモノニ計畫ヲ立テマスル
ト云フト、酒ノ方面ニ切り込マザルヲ得ナ
イ立場ニ在ルノデアリマス、ソレデ一面御
説ノヤウニ、現狀ニ於テハ、理窟ヲ披ニシ
テ酒ノ必要ナ方面モアリマスガ、又節シ
テモ濟マナクハナイ方面モアリマスノデ、
矢張り食糧全體カラ考ヘマスルト、酒ノ造
石高ヲ大イニ減サナケレバナラス、是ハ十
分必要ナ方面ト兩方考ヘマシテ、只今ノヤ
ウナ所ニ決リマシタノデアリマス、煙草ニ
致シマシテモ是ハ結局煙草ノ増産ハ、原料
葉煙草ノ増産ヲ要シマスガ、是ハ結局耕
地、肥料、勞力等デ、主要生産物ノ増産ヲ
結局ソレダケ少クスルモノデアリマスノデ、
現在トシテハ煙草ノ需要ガ非常ニ旺盛デア
リマスガ、供給量ヲ増ス爲ニ増産ヲスルト云
フコトハ全部ノ食糧政策、其ノ他ノ生産ノ
政策カラ考ヘマシテ寧ロ之ヲ採リ得ナイ情
況デアリマス、ソレカラ又大東亞共榮圈全
體ト致シマシテハ、終局ニハ勿論自給ガ十
分可能デゴザイマスガ、只今デハ例ヘバ「フイ
リッピン」ノ如キハ、從來ノ米國ノ政策デ

ハアスコデ葉卷煙草ノ原料ヲ作ラセマシテ
本國へ持ッテ行キ、本國カラ葉卷煙草ヲ輸出
シテ來ル、是ハ餘計利益ヲ得ル立場カラ非
常ニ工合ノ好イ仕方デアリマス、サウ云フ
コトカラ葉卷ノ原料ハ今澤山出來テ居リマ
スガ、ソレハ餘リ必要デナク、必要ナ紙卷
ノ原料ガ非常ニ足りナイ情況デアリマス、
從ッテ耕作品種ノ轉換ガ行ハレマス迄ハ非常
ニ不足シマス、又サウ云フヤウナ支那ノ戰
亂ノ現狀モアリマシテ、現狀デハ煙草ノ葉
ガ不足デアリマス、非常ニ不足ナ程度デア
リマスカラ、矢張り是ハ共榮圈内ノ日本ノ
立場トシテ若干ハ葉卷煙草ヲ或ハ「タイ」ニ或
ハ支那ニ送ラナクハレバナラヌト云フ情況デア
リマス、ソレ故ニ財政主義カラ申シマス
レバ煙草モ酒モ非常ニ數ヲ殖ヤシタイノデ
アリマスガ、財政主義ヲ第二義ト致シマシ
テ煙草ハ増産セズ、酒ハ寧ロ減石ヲシテ居
ル、斯ウ云フ情況デアリマス、其ノ觀點カ
ラ己ムヲ得ズ數量ガ減ッテ居ルヤウナ次第
デゴザイマス

○子爵大河内輝耕者 只今ノ御見込ハ能ク
分リマシタ、マサカ頭カラ飲マヌノガ宜イ
ト云フ迄ハドウモ出來ナイ、酒ハ或程度迄
必要物ダト思ヒマスケレドモ、其ノ意味ハ
能ク御分り下サツタラウト思ヒマスカラ、是
デ宜シウゴザイマス、併シ兎角酒ヲ上ル方
ハ酒ハ害ガアルト仰シヤリ、飲マヌ者ノ方
ガマア酒ハ少シ飲マシタ方ガ宜イト云フヤ
ウナコトニナルノデスガ、ソレハドウモ兩
方ノ歩ミ寄リテ非常ナ浪費ニナラヌ限リハ、
是ハ飲マシテ置クガ宜カラウト私ハ思フ
ノデス、尙ソレハソレトシテ尙伺ヒマスガ、
今度新シク御決ニナル、各省デ御打合ノ上
御決ニナル内容ヲスツカリ書類ニデモシテ出

シテ戴ケルト、質問スルノニ都合ガ宜イノデ
スガ、サウ云フコトハ出來マスマイカ、若
シ詳シイコトナラ此處デ一々仰シヤッテモ
時間ヲ取りマスカラ、書面ニシテ出シテ戴
ケマセヌカ

○政府委員(松隈秀雄君) 數量ノ内譯等ハ
マダ全ク一ツノ見當テゴザイマシテ、將來委
員會ガ出來マシタ時ニ果シテ其ノ内容デ委
員會ニ付議出來ルカ、或ハ委員會ニ提案致
シマスル迄ニ内部デモウ少シ各方面ノ意嚮
モ徵シテ變ヘタ案デ出スカト云フコトガ分
リ兼ネマスノデ、今ノ處委員會付議見込資
料ヲ印刷ニシテ御配リスルト云フ所迄ハチ
ヨット行兼ネテ居ルノデアリマスガ、先程大
臣ノ御説明ニモアリマシタヤウニ、數量的
ニ申シマシテモ重點配給ニ十分留意シテ參
リタイト思フテ居ルノデアリマスガ、其ノ
情況カラ先ヅ申上ゲテ見タイト思フノデア
リマス、例ハバ清酒及ビ合成清酒ニ付テ申上
ゲマスルト云フト、昭和十七年度ニ於キマ
シテハ、配給シ得ル總量ガ二百六十三萬石
程度デアリマシタガ、之ヲ特配用、即チ重
要産業ニ從事スル勞務者、又ハ農山漁村民
等ニ特ニ數量ノ確保ヲ圖ル爲ニ特配スルモ
ノデゴザイマス、是ガ石數ニシマシテ五十
六萬石、全體ニ對スル割合ハ二十一「パーセ
ント」デアリマス、家庭用トシテ配ラレマスル
モノガ石數ニシテ百三十五萬石程デアリマシ
テ、「パーセント」トシマシテハ五十二
「パーセント」ニ相成テ居リマス、業務用トシ
テ配ラレマスモノガ六十三萬石程デアリマ
シテ、「パーセント」ニシテ二十四「パー
セント」、特殊用ト申シマスルノハ冠婚葬
祭、應召出征等ノ場合ニ豫定シテ居ルモノ
デアリマス、又地方ノ祭典用ナンカノ爲ニ

モ使ヒマスルモノデアリマスルガ、是ハ石
數ニ致シマシテ約八萬石「パーセント」
ニシテハ三「パーセント」、是ガ大體昭和十
七年度ニ於テ實行サレル豫定ノモノデアリ
マシテ、大體現在是デ進行中デゴザイマス、次
ノ十八年度ノ分ト致シマシテハ、酒類ノ供
給量ガ先程大臣カラ御話モアリマシタヤウ
ナ事情ニ依リマシテ減リマシタノデ、清酒
及ビ合成清酒ノ供給數量ハ二百三十一萬石
程度ト見テ居リマス、其ノ場合ニ於キマシ
テモ特配用ト致シマシテ七十萬石ヲ豫定シ
テ居ルノデゴザイマス、全體ニ對シマス「パー
セント」ハ三十「パーセント」デアリマ
シテ、即チ十七年度ノ二十一「パーセント」
ニ較ベマスレバ、特配用ハ特ニ割合ヲ多ク
シテアル次第デアリマスガ、家庭用トシマ
シテ見込デ居リマスルモノハ百十七萬石
程度デアリマシテ、割合ハ五十一「パーセン
ト」ニナツテ居リマス、即チ前年ト略同様
デアリマス、家庭用モモウ少シ確保致シタイ
ノデアリマスガ、全體ノ數量ガ二割程度減ッ
テ居リマスノデ、此ノ程度ハ己ムヲ得ナイ
カト思ッテ居ルノデアリマス、業務用ト致シ
シテ豫定致シテ居リマスノハ三十六萬石デ
デアリマシテ、割合ハ十六「パーセント」ナツ
テ居リマスルノデ、業務用ハ十七年度ニ較
ベレバ相當壓縮サレル見込デゴザイマス、
此ノ業務用ノ中デモ立飲屋トカ、或ハ居酒屋
屋トカ云ツタヤウナ極ク大衆的ナ、家庭デチ
ヨット酒ノ飲ミニクイ者ガ家庭代リニ飲ム
ト云ツタヤウナ場所モゴザイマスルノデ、ソ
レ等ヲ考慮致シマスルト之ヲ餘リニヒド
ク減ラスト云フコトモ出來マヌセノデ、漸
次減ラス方向ニハ持ッテ參リマスガ、十八年
度ト致シマシテハ、一應此ノ程度ヲ豫定

致シテ居ル次第デアリマス、特殊用ハ八萬
石程度デ、是ハ前年ト同ジク三「パーセン
ト」ト見テ居ル次第デアリマス、其ノ他燒酎
等ニ付キマシテモ大體之ニ準ジマシテ特配
用ニ最モ重點ヲ置キ、家庭用ハ成ルベク前
年ヲ維持シ、業務用ハ減ラス、特殊用ハ數
量モ僅カデアリマスノデ、大體前年通りト
言ツタヤウナ分ケ方ヲ致シタイト思フノデア
リマス、斯ウ致シマシテ數量的ニ一應分ケ
マシタ上、更ニ重要産業勞務者ト、農林水
産業等ニ從事致シマスモノニ付テハ、其ノ
中私ガ先程申上ゲマシタ數量、即チ清酒及
ビ合成清酒デ申上ゲマスレバ、七十萬石ノ
内五十萬石ニ付テハ、特ニ價格ヲ低廉ニ致
シマシテ數量ノ確保ノミナラズ、價格ノ低
廉ナ酒ヲモ配リタイト思フノデアリマス、
其ノ配リマスル場合ニ於テ、農林、水産等
ニ從事シマスル者ハハッキリ致シマスガ、重
要産業ニ從事致シマスル勞務者ト云フノハ、
其ノ範圍ガ極メテ、漠然トシテ居ルノデア
リマスガ、大別致シマスレバ軍ノ直接經營
シテ居リマスル工廠ノヤウナ所ハ勿論、ソ
レカラ民間工場デ軍ガ管理シテ居リマス所
ニモ參リマス、ソレカラ軍ノ管理致シテ居
ラナイ工場デアリマシテモ、重要産業ト認
メラレマスモノニ付テハ矢張り配リタイト
思フノデアリマスソコデ其ノ事業別ニ申上
ゲマスルト、私ガ先程申上ゲマシタヤウニ
軍作業廳勞務者、ソレカラ炭鑛及ビ鑛山勞
務者、ソレカラ其ノ他ノ重要時局産業勞務
者、是ハ金屬工業以下申上ゲタ通りデアリ
マス、此ノ場合ニ於キマシテ、大體私共ノ腹
案トシテ考ヘテ居リマスルノハ、是等ノ事業
ニ從事致シテ居ル勞務者、各、勤勞ニ依ッテ
疲勞スル程度ガ相當違フノデアリマシテ、

例へば鑛山ニ從事致シマスル者ハ、一日坑ノ中ニ入ッテ居ル、坑カラ出テ來テモ環境等ノ關係デ、外ニ娛樂モ大シテナイト云フヤウナ關係デアリマスノデ、斯ウ云フ者ハ外ノ勞務者ヨリモ酒ヲ多ク廻ス必要ガアル、斯ウ云フコトカラシマシテ、大體勞務者ヲ甲乙丙丁位ノ四段階ニ分ケマシテ、例へば炭礦ハ甲ト乙ニ分類スル、ソレカラ例へば機械器具工業デアリマスト、是ハ乙ト丙ト丁位、宜シカラウト云フ工合ニ、事業ニ依リマシテ甲乙丙丁ノ何レカ一ツ以上ニ分類ヲ致シマシテ、サウシテ甲ニハ一番多ク、丁ニ割當タ者ハ一番少ク、一人當リ平均ノ配給ヲ決メタイト思ッテ居ルデアリマス、ソコデ是等ノ産業ニ從事致シマスル者ガ、果シテ甲ト乙乙宜イカ、或ハ乙ト丙ニシタ方ガ宜イカト云フヤウナコト、ソレカラ甲乙丙丁ニ割當テマスル一年間ノ一人當リノ配給見込數量ト云フヤウナモノガ、私共ノ今考ヘテ居ル所デ宜イカドウカト云フコトニ付キマシテハ、折角酒類委員會モ出來マスコトデアリマサルカラ、其ノ委員會ニ於キマシテ、各方面ノ權威者ノ意見ヲ十分ニ聞イタ上定メタイト思ッテ居ルヤウナ次第デアリマス

○國務大臣(賀屋興宣君) チョット申上ゲマスガ、今申上ゲマシタ配給ノ數量、又特殊低廉ナ價格ノ配給方法ハ、主稅局長ガ私案トシテ假ニ持ッテ居ルモノヲ申上ゲタノデ、今後ソレノ機關ニ掛ケマシテ決定スル譯デアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙一應補足致シテ置キマスガ、例へば特殊ノ勞務方面ノ特配ヲ六十餘萬石ト申シマスガ、其ノ方面ニモ家庭用ノ配給ト云フノハ矢張り一律ニズット參リマスノデアリマス、家庭用配給ハサウ云フ特

殊勞務用以外デ、今言ッタ六十餘萬石ノ内デヤアリマセヌ、家庭ノハ全般ニ參リマス此ノ一點ト、尙業務用デ主稅局長ガ説明致シマシタヤウニ、業務用ハ大キク分ケテ考ヘマスレバ、普通世間デ贅澤ナリト認メテ居リマスヤウナ高級ノ料理屋方面ト、全ク大衆ノ方面デハ相當區分シテ考ヘナケレバナリマセヌ、從ヒマシテ、業務用全體ガ非常ニ十八年度ニ於キマシテハ配給ヲ少クスル豫定デアリマスガ、其ノ内デモ今申上ゲマシタ二ツノ大別ハ、實際ハ三通リニナルカ分リマセヌガ、今ノ大衆ノモノハナカノ減シ難イ、マア高級料理店ノ方ノヲ主ニ減サナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ傾向ニアルモノト存ジマス

○子爵大河内輝耕君 今伺ヒマシタガ工廠管理工場其ノ他重要産業ト云フヤウニ御分ニナツトノデスガ、管理工場ノ中ニモ工廠ト同ジ仕事ヲシテ居ルノガ大部分アルガラウト思ヒマスシ、重要産業ト云フ中ニモ、工廠ト同ジヤウナ仕事ヲシテ居ルモノモアルト思フデアリマスガ、此ノ點ハ差別待遇デモアルヤウダト又餘程面倒臭イコトニナルガラウト思ヒマスシ、特ニ徵用工ナゾノ關係モアリ、ナカノ億劫ダラウト思ヒマスガ、此ノ點ハウマク差別スルト言ハレナイヤウニ、同ジ仕事ヲシテ居ル者ハ大體同ジヤウニヤッテ行クト云フヤウナ御方針デセウカ

○政府委員(松隈秀雄君) 大體御説ノ通りデアリマシテ、今ノ所ハ仕事ノ性質ニ依ッテ、體力ヲ非常ニ消耗シ恢復力ヲ非常ニ要スルカドウカト云フコトニ依ッテ一人當リノ特殊配給量、及ビ低廉價格配給量何程カラ決メタイト思ッテ居リマス、サウシテソ

レ等ノコトニ付キマシテハ、關係當局トモ十分打合セテ決メタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ二十七條ノ三ト云フノデスガ、左ニ掲グル酒類ハ大藏大臣ノ定ムル用途ニ充ケル爲ニ、ト云フノハ只今私ノ質問シタコトニ當リマセウカ、マダ何カ外ニモ何カゴザイマセウカ

○政府委員(松隈秀雄君) 御説ニナツタ通り、ソレガ所謂増稅ナキ低廉價格ヲ以テ配給シ得ル酒ヲ決メマシタ根據法ニ當ルモノデゴザイマス、デ大藏大臣ガ其ノ條文ニ依ッテ指定サヘ致シマスレバ、只今申上ゲマシタヤウナコトガ實行出來ルト云フノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 今ノ點デスガ、是ハ事務上ノコトデアリマスカ、政務上ノコトデアリマスカ分リマセヌガ、兎ニ角近頃何ト云フ言葉デ言ッテ宜イカ、詰リ俗ニ謂フ酔ッ拂ヒデス、是ガ非常ニ多イ、ドウモ夜電車ヘデモ乗リマス、必ズ電車ノ中ニ一人カ二人カハ居ル、コンナ風ニナツト云フコトハ、詰リ酒ガ高イカラナンデスシ、又一方ニ新聞デ見マス、殺人「アルコール」ナント云フヤウナモノガ出テ來ル、「ウイスキー」ヲ飲ンデ死ンダ者ナド出テ來ル、是ハ酒ガ高イカラデアル、衛生上甚ダ面白クナイコトデスガ、稅法ノ立場カラ如何デセウカ、理想ヲ言ヘバ稅ヲナクスレバソナモノハナクナルデセウカ、サウモ行カナイガ、サウ云フ點ハドウ云フ風ニ御覽デセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) マア是ハ色々人ニ依ッテ觀察スル人モアリマス、前ニハ圓「タク」ト云フモノガアツテ、圓「タク」ニ乗ッテ五十錢、三十錢デ酔ッ拂ヒハ皆自動車デ歸ッテシマッタガ、今ハソレガナイカラ、皆電

車ニ乗ッテ居ルノデ目ニツクノデ、色々觀察シテ居ル人モアル、マア此ノ時局下デゴザイマスカラ、ドウシテモ重要ナ物資ヲ消費スルコトデアリマスカラ、國民各自ニ自肅致シテ貰フコトガ第一ト考ヘテ居リマス、唯斯ウ云フ機會ニ衛生上有害ナ酒ヲ飲マセルト、斯ウ云フコトハマア非常ニ慎ムベキコトデアリマシテ、是ハ單ニ自肅ニ俟ツノミナラズ、取締ヲ非常ニ要スル所ト考ヘマス、内務當局ニ於キマシテモ十分考ヘテ居リマスルシ、今回ノヤウナ稅法及ビ酒ノ製造、是ハ平タク申シマスト一種ノ專賣ニ代ハルヤウナ今度ハ案デアリマスル譯デアリマスカラ、酒造團體法等ニ依リマシテ製造業者、販賣業者ハ餘程從前ヨリハ取締ガ正確ニ行クヤウニナリマスノデ、少クトモ其ノ點迄ニハ十分ニ取締ッテ參リタイ、尙ソレガ所謂居酒屋或ハ飲食店等ニ於キマスル酒ノ販賣部面ニ於テハ、是亦内務當局其ノ他ノ取締モアルコトデアリマスガ、衛生ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ政府ト致シマシテモ十分意ヲ用ヒテ居リマシテ、酒ニ惡イ物ヲ混入致シマシテ、色々ノ健康上障害ヲ及スコトニ付キマシテ、十分戒心ヲ致シテ參リタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ取締リバカリデイケナイノデ、財政ノ方カラモ考ヘテ戴キタイト思ヒマスガ、是ハ御考慮ヲ願ッテ置キマス、ソレデ私酒ノ質問ハソレデ打切りマスガ、内務省ノ當局ガオイデニナリマスノデ……

○委員長(伯爵酒井忠正君) チョット其ノ前ニ東郷男爵カラ關聯シテ御質問ガアルサウデスカラ……

○男爵東郷安君 只今ノ大河内委員ノ御質

問ニ關聯シテ一點何ヒタイノデス、重要産業ニ從事スル勞務者ニ酒及ビ煙草ノ特配ヲ考慮サレルコトハ、誠ニ結構ナ御趣意ト存ジマス、軍ノ工廠、軍管理工場ノ次ニ、之ニ準ズル重要産業ノ勞務者ニ對スル特配ト申シマスカ、實ハ實情ニ於テハ軍直屬ノ工廠、其ノ他軍管理工場ノ如ク一應文字ノ上デハ關聯スルコトハ明カデアリマスケレドモ、實際ニ於テハ種々ナル場合ガ想像サレマス、即チ航空機工業、造船業、自動車工業、其ノ他今日考ヘラレテ居ル超重要産業ニ於テハ多數ノ綜合工場ニナツテ居リマス、所謂「アッセンブル」工場デアリマス、ソレハ工場ノ機能ヲ發揮スル上ニ於テ、縦ノ關係、即チ親會社、子會社、請負工場下云フヤウナ具合ニナツテ居リマスガ、若シ夫レ只今御話ノ中ニアリマス通りニ非常ニ鑛山勞働者ノ如ク、軍需ノ重壓ニ依ツテ疲勞ノ程度ガ大キイト云フコトヲ一ツノ目標ニセラレルナラバ、是等ノ工場、軍需工場ニ屬スル下請工場ノ如キモ今後、最近ニ於ケル賃金統制令ノ解移等ニ依リマシテ、更ニ一層ノ重壓ヲ加ヘ、疲勞ノ程度ヲ増スノデアリマス、是等ノ軍需工場ノ機能、能力ヲ發揮スル上ニ於テハ、是非トモ十分ナル優遇方法ヲ講ジテヤラナケレバナラス、ノミナラズ先達テ大臣ノ御説明ノ中ニアリマシタ通り、是等ノ施設ハ勞銀ノ水準ヲ維持スル意味ニ於テモ必要ト感ズルト云フコトデアリマスガ、

是等ノ下請工場ニ從事シテ居ル工場ノ人々ニ對シテモ、相當ノ優遇ヲシテヤルト云フコトニナリマス、非常ニ其ノ範圍ガ廣クナリマス、ソコデアリマスガ先程例ニ出マシタ、軍隊ニ於ケル煙草ノ「ホマレ」ノ如キ分配方法デアラナラバ、稍、取締ガ出來ルノデアリマスルケレドモ、此所迄廣クナツテ參リマス、實ハ大藏省ノ親心ガ必ズシモ其ノ御希望ノ線ニ沿ハナイ、即チ取締ガ非常ニ困難ニナツテ來ルト云フコトガ有リ得ルヤニ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 誠ニ御尤ナ御質問デアリマス、其ノ點ハ非常ニ苦心ヲ要スル所デゴザイマス、從ヒマシテ配給ガ正確ニ出來ルト云フコトヲ一面考ヘテ參ラナケレバナリマセス、其ノ結果配給機構ガナイ爲ニ、結果論トシテハ斯ウ云フ事業ニモウ少シ及ベバ宜カッタト云フヤウナ、遺憾ナ場面ガ施行ノ當初ニ於テハ、率直ニ申上ゲマシテ、全然出ナイトモ限ラナイト思ヒマス、是等ノコトハ今回初メテノ企デアリマスノデ、一面ニ正確ナ配給機構、詰リ横流レヲ致シマセヌヤウナ、本當ノ配給機構ト云フモノヲ整備シテ參ルヤウニ努力ヲ致シ、一面ニハ斯ウ云フ特典ヲ及ス範圍ト云フモノヲ段々不公平ガナイヤウニ、又厚薄ノ程度ガ實情ニ副ヒマスルヤウナ方法、是モ率直ニ申上ゲマシテ施行ノ第一回ニ於テ遺憾ナキヲ得ルヤト云フコトニ付キマシテハ、遺憾ナキコトヲ努メマスルガ、結果カラ見マシタナラバ、第一回ニ於キマシテハ、後カラ見マシテ、遺漏ガアツタト云フコトガ是ハナキニシモアラズト存ジマスルガ、是等ノコトニ付キマシテ、一回ヨリ二回、ソレモ唯漫然ト成ルベク良クシヨウト云フコトデナク、非常ニ注意ヲシテ完全ニ參リ、又配給ノ機構モ整備シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ内務省ノ當局ニ伺ヒマスガ、具體的ノ御答ヲ實ハ要求スレバソレデ宜シイ、今度アノ府縣制ノ改正等モアリ、委任事務ガ殖エタカラ、ア、云フ風ニナツタノダト承ツテ居リマス、從來委任事務ヲヤル度ニ、金ヲヤラナイ爲ニ地方財政ガ減茶々々ニナツテ、其ノ減茶々々ニナツタ結果ヲ中央財政ガ背負ハナケレバナラナイ、昨日モ申上ゲタヤウニ、隨分是ハ古クカラノ問題デ、直スノニ非常ニ骨ヲ折ツタ、ヤツト直ツテヤリ易イノデスガ、又今後モ委任事務ガ益、殖エマスカラ、其ノ度ニ金ヲソレダケヤツテ呉レバソレハ宜イガ、ヤツテ呉レス、仕事ダケ押付ケテ金ヲヤラナクナルト、地方ハ好ムト好マナイトニ拘ラズ、何かシナケレバナラス爲ニ、財政ガ紊亂ヲ極メテシマフ、結局ソレハ同ジコトデ、國庫ガ背負ハナケレバナラナイノデスカラ、初カラ金ヲ付ケヤツタト結果ハ同ジナンデスガ、何ダカ知ラナイガ國庫ノ方デ初ニ金ヲ付ケテヤルコトヲ非常ニ嫌ガル、ソレデドウ云フモノデセウカ、今後委任事務ヲ、今迄ノ委任事務モ澤山アルシ、今後ノ委任事務モ澤山アルシ、具體的標準ヲ決メテ、此ノ金ニ付テハ全額ヤル、此ノ金ニ付テハ半分ヤル、丁度義務教育ノ國庫負擔ノヤウニハッキリ爲ステ置ク必要ガアラウト思フガ、現状ヲ一ツ先ツ内務省ノ當局カラ承リタイ

○政府委員(古井喜實君) 只今仰セノ如ク地方團體或ハ機關ニ對シマスル委任事務ト云フモノガ、近來益々増大シテ參ッテ居ル實情デアリマス、町村ノ如キハ役場事務ノ七割見當ハ委任事務デハナイカト想像セラレテ居ル位デアリマス、之ニ對應致シマシテ、必要ナ財源ヲ地方團體ニ交付致シマス問題ニ付キマシテハ、從來カラノ問題デモ

アリマスルガ、今後ノ關係ニ於キマシテハ、實ハ今回ノ衆議院ニ提案ニナツテ居リマスル改正案ハ、今後ニ於キマシテ事務ヲ委任致シマス場合、其ノ場合ニハ其ノ都度之ニ對應スル適切ナ措置ヲ講ズルベキモノデアルト云フ趣意ノ規定ガ入ッテ居ルノデアリマス、從來ノ關係ニ付キマシテモ順次整頓ハ致シテ居リマスルガ、今後ニ付キマシテハ、特ニ法モ其ノ點ニ付テ指導ノ精神ヲ書キ表シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソコデ此ノ點ヲ徹底的ニ間違ヒナイヤウニ厲行スル爲ニ、何か基準ヲハッキリ定メテ置イタラドウカト云フ御尋デアリマス、此ノ問題ハ實ハ將來ノ問題デモゴザイマシテ、下ウ云フ種類ノ事務ガ委任セラレルカ、又其ノ種類ニ對應シタ財源ヲドウ考ヘタラ宜イカト云フ問題ガ、將來ノ個々ノ問題ニ相成リマスノデ、其ノ都度或ハ法律或ハ勅令、或ハ省令ニ於キマシテ事務ヲ委任致シマス場合ニ、其ノ事務ノ種類ニ應ジマシテ、或ハ全部國庫ノ補助金、助成金トシテ行キマスヤ、或ハ一部、半分ヲ國庫ニ於テ補助助成致シマスヤ、其ノ邊ノ處ハ個々ノ事務ニ付テ矢張り検討ヲ加ヘテ考ヘマスコトガ、一番事柄ニ適應スルノデアリナイカト云フ考ヲ以テマシテ、只今ノ處抽象的ニ或基準ト云フコトヲ考ヘル迄ニ參ッテ居リマセス實情デアリマス、個々ノ場合ニ十分其ノ相談ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ國務ト云フモノハ決ッテ居ルノデアリマスカラ、抽象的ニ御決ニナルコトハ出來ナイコトハ直グ分ラウト思ヒマスガ、ソレハ今ノ御話通りデアリマスカラ、議論ニナリマスカラ止シマスガ、將來御決ニナル時ニ法律デ御決ニナル

第四部第一四類 臨時利得稅法中改正法律案特別委員會議事速記第四號 昭和十八年二月二十二日 貴族院 九

ノハ宜ウゴザイマスガ、少クモ豫算位ノモ
ニハハツキリ決メテ、明記デモシテ置イ
テ戴キタイ、勅令以下決ルト云フト、詰
リ内務省ト大藏省ノ押問答決ルノデ、ドッ
チカ強イモノ決ルノデスカラ、甚ダ財政
ノ點カラ言テ面白クナイノデス、今ノヤリ
方ハ……將來御決ニナル場合ニハ、一ツ堂
堂ト議會ヘ出シテ此ノ仕事ニハ是ダケノ補
助金ヲヤツテ、是ハ何割ダト云フコトヲハッ
キリ今デモ御決ニナツテ居ルノデセウガ、少
シモ外部カラ分ラナイ、中ニハ聽イテ見レ
バ、豫算ガ通ツタ後決メタルノデスト云フ
ノガ随分アルカラ、サウ云フコトヲシテ居
タノデハ、地方財政ハ持テマセヌ、ダカラ
其處ノ處ヲハツキリ法律若シクハ豫算ヲ以
テ決メル、豫算ヲ以テ決メタルト云フノハ
カシイ話デスガ、豫算ニ明記シテ置クト云
フヤウナコトデ、殊ニ内務省デ豫算ヲ決メ
ラレル場合、或ハ内務省バカリデナイ、大
藏省デモサウデスガ、殊ニ内務省デハ地方
財政ト云フコトヲ管理サレテ居ルノダカラ、
面倒ダガ各省ニ互テ御調査ニナツテ、豫算
ニ付テハ是ダケ地方ノ豫算ガ殖エル、之ニ
對シテハ斯ウ云フ財源ヲ以テ當テルノダト
云フコトヲ、豫算ト同時ニ御決ニナル必要
ガアルト思フ、今ノヤウデハ御分リカモ知
レナイガ、十八年度ノ豫算デ、地方ノ負擔
ガ幾ラ殖エルカ、我々ハ無論分リマセヌシ、
チヨット出テ來ナイダラウト思ヒマス、サ
ウ云フコトデハ豫算ノ審議ノ上カラ云ツテ
モ面白クナイシ、地方ノ財政カラ言ツテモ
甚ダ宜クナイト思ヒマスカラ、サウ云フ點
ヲモット法律ヲ以テ決メルカ、成ルタケナラ
バ法律決メテヤリタイノデスガ、決メラ
レナイナラバ仕方ガナイカラ、豫算ノ中ニ

ハツキリ書イテ置クト云フ方法ガ、執レナ
イモノデセウカ、内務省ノ當局カラ伺ヒタ
イト思ヒマス

○政府委員(古井喜實君) 只今ノ委任事務
ニ對スル、國ガ幾ラ持つツカ云フ問題デアリ
マスガ、此ノ邊從來ノ經費ニ付キマシテモ、
大藏省ト十分ナ了解ヲ遂ゲテ、順次理窟ニ
從ヒマシテ、所謂負擔區分ノ考ヲ通スコ
トヲ段々實現致シテ參テ居ルヤウナ次第
デアリマス、個々ノ事例ニ付テモ例ヲ申上
ゲルモノモアルカト思フノデアリマスガ、
尙又豫算ニ於キマシテモ、是ハドレダケノ
經費ヲ組ム、半分ナラ半分ト云フ考デ、是
ダケノ經費ヲ組ムト云フ基礎ハ各豫算ニ付
テ、ソレモ豫算ノ際ニハツキリ考ヘテ參ツテ
居リマス、又今後モ其ノ點ハ十分サウ致サ
ナケレバナラヌト思ヒマスシ、又總ジテ委
任事務ニ關係ノ經費ノミナラズ、地方團體
ノ自ラノ固有事務ニ屬スル活動ノ經費ニ付
キマシテモ、必要ナ財源ハ例ヘバ十八年度
ニ於キマシテハ、結局是ダケ要ルモノデア
ルト云フ總額モ考ヘマセヌト、明年度ノヤ
リ繰リガ付キマセヌ譯デアリマスノデ、此
ノ邊ニ付キマシテモ、是ハ結局地方分與稅
ノ明年度ニ於キマスル總額ト云フモノヲ考
ヘマス内容トシテ斯ウ云フ經費ニ増アリ、
減アリト云フコトデ、具體的ニ研究致シマ
シテ、總額トシテ是ダケアレバ足ルト云フ
コトヲ締括リトシテハ致シテ居ルヤウナ次
第デアリマシテ、此ノ邊ニ付キマシテハ遺
漏ノアリマセヌヤウニ十分ニヤツテ行カ
ケレバナリマセヌシ、又ヤルヤウニ只今ノ
處、考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○政府委員(古井喜實君) 近來ニ於キマシ
テハ特ニ時局關係ノ經費等ノ増加モゴザイ
マスノデ、是ハ年ニ依ツテ無論違フコトデゴ
ザイマスガ、明年度ニ於キマシテハ、所謂
配付稅デゴザイマスガ、約一億二千萬圓ノ
増額ニ相成ツテ居リマス、是ハ内容ニ付キマ
シテ各種ノ經費ヲ檢討致シマシテ、結局ソ
レダケノ増額ヲ要スルト云フコトデ、明年
度ニ付テ申上ゲマシレバ、左様ナ結果ニ相
成ツテ居リマス

○政府委員(古井喜實君) 仰セノ通りデア
リマシテ、是ハ地方費ト致シマシテ負擔ス
ル部分ノ必要ナ財源ハ、是デ足リルト云フ
コトデ考ヘテ居リマス、無論此ノ外ニ國庫
カラノ交付金、助成金等ガアリマスコトハ、
無論デアリマスガ、地方負擔分ニ付キマシ
テハ、此ノ増額デ以テヤツテ行キ得ルモノ
ト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 重ネテ内務省ノ政府
委員ニ願ツテ置キマスガ、ソレデヤ一ツ一億
二千萬圓ノ收入ノ方ハ宜ウゴザイマスガ、
歳出ノ方ハドウ云フ風ニナツテ居ルノカ、表
ニデモシテ出シテ戴キタイ、今此處デ一々
ヤツテ居たら大變デスカラ、一ツ歳出ノ方面
ダケハ表ニ作ツテ戴キタイ

○政府委員(古井喜實君) 承知シマシタ
○子爵大河内輝耕君 尙大藏大臣ニ伺ヒマ
スガ、兎角、今ハソノコトハナイデセウガ、
從來ノ豫算ノ査定ヲ見マスト、一寸逃レデ地
方ヘ押付ケテシマツテ、サウシテ地方費デ

ナルナラ宜イトカ何トカ云フコトデ、何ト
云フ考モナク地方ヘドシノノ仕事ヲ押付ケ
ルヤウナ傾向ガナキニシモアラズ、其ノ爲
ニ地方費ガ苦シムコトハ無論ノコト、結局
終ヒニハ親ノ國庫ガ何トカシテヤラナケレ
バナラヌヤウニナツテ、サウシテ非常ナ負
擔ノ後始末シナケレバナラヌヤウナコトニ
ナル、詰リ財源ノナイ借金ヲシタヤウナコ
トニナツテシマフ、後デ何トカシナケレバ
ナラヌ、後デ非常ナ迷惑ヲシナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フコトハ一ツ、甚ダ御忙ガシイ
處、恐縮デスケレドモ、地方財政ト中央財
政ノ關係ト云フモノハ、豫算ノ査定ノ時ニ
モウ一層能ク研究シテ戴キタイト思ヒマス、
甚ダ内容ニ立入ツテ恐縮デスガ、中央財政
ノ中デモ細カイトモウ調ベナクテモ宜
イヤウナコトモアルヤウデスガ、サウ云フ
コトハ第二ニ御置キニナツテ宜イ、寧ロ地
方財政ノ方ニ力ヲ入レテ戴キタイト云フヤ
ウナ感ガアリマスガ、如何デス

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○子爵大河内輝耕君 尙大藏大臣ニ伺ヒマ
スガ、兎角、今ハソノコトハナイデセウガ、
從來ノ豫算ノ査定ヲ見マスト、一寸逃レデ地
方ヘ押付ケテシマツテ、サウシテ地方費デ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

○國務大臣(賀屋興宣君) 地方費ニ付キマシ
テハ其ノ國カラノ委任事務デアラノ意思ニ依
ラズシテ地方費ヲ組ミマス際ニ、又地方ガ
財源カラ考ヘマシテ、其ノ負擔力ガナイ爲
ニ、國カラノ財源ニ信賴致シマシテ、補助
金ナリ適當ナ施策ヲ適正ニ之ヲ致スコトハ
誠ニ御同感デアリマシテ、今回ノ府縣制、
市町村制ノ改正案ニモ明瞭ニ出テ居ルノデ
アリマス、唯斯ウ云フ點ガ一點アリマス、
國カラ委任事務ガ行ク、地方デ割合ニ餘力
ノアル所ハ其ノ施行スルノニ比較的整澤ニ
ヤル、高級ノ吏員ヲ使フ、又自ラヤリタイ
爲ニ色々ソレニ附加シテ仕事ヲシテ居ル、
斯ウ云フ場合モ從來往々アル、從ツテ形式
的ニ地方團體ガ其ノ施行ニ付キマシテ幾ラ

金ガ要シタカラ半分出ス、是モ必ズシモヤリ得ナイ場合ガアル、ソコハ矢張り……ト申シマスノガ調査ナドニシマシテモ、國カラ委託スル事柄ガ同時ニ又地方團體ガソレヲ主ニシテ、ソレニ或材料ヲ附加スルトカスレバ非常ニ地方團體自身ニ對シテモ役ニ立ツ、斯ウ云フ場合ニハ今ノ財源ガアルカラ贅澤ニヤルト云フ考デナイ迄モ、宜イ意味ニ於テハ國ノ委任事務ニ併セテ自ラ物ヲ出シテヤルト云フヤウナ場合モアルノデアリマシテ、併シ其ノ場合ニハ是ハ矢張り地方財源デアルベキ其ノ部分ハ筋合デアリマス、斯ウ云フコトニ對シマシテ、色々從來必ズシモ漫然ト出惜ミヲシタリ、又漫然ト要求スル例ガ全然ナカッタト云ヘバ、是ハサウモ言ヘナイモノモアリマス、徒ニ國庫モ所謂出惜ミヲスルト云フコトモナク、又地方モ唯財源ヲ要求スルコトデナク、是ハ中央官廳デ地方ノコトヲ主トシテ考ヘル立場ニアリマスル内務省、又大藏省、何ト申シマスカ、捉ハレナイデ能ク考ヘテ行キタイ、十分サウ云フコトニ今後注意シテ參ル積リデアリマス

○子爵大河内輝耕君 今ノ貫ツタ金ハ貫ツタシタカラ餘計ナコトヲシテヤルンダナンゾハ、是ハ一ツ内務省デ嚴重ニ御取締ニナツテ、サウ云フコトハ勝手ニヤラヌヤウニシテ戴キタイ、人カラ金ヲ貫ツタカラ餘計ナコトヲスルト云フコトニナツタラ切リノナイ話デ、自分ダケデヤルンデモソレハ贅澤ヲシテハイケマセヌガ、殊ニ人カラ補助ヲサレテ居ルノデ、ソレヲ利用シテカ、又濫用シテカ知ラスガ、餘計ナコト迄シテ行クト云フコトハ、其ノコトハ假令宜イトシテモ、矢張り自分ノ方デ確信ヲ持ッテ大丈夫

ト見タ所デヤルベキ仕事デ、サウ云フコトヲ無闇ニヤッタラ補助スル方デハ叶ハナイ、ソコイラハ内務省ノ方デ十分御監督ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(加賀與宣君) 私ノ申上ガ方ガ惡カッタカモハ知レマスセガ、例ヘバ普通ニヤレバ斯ウ云フ仕事ハ此ノ位ノ金ガ掛カル、是ハ事實上國ガ三分ノ二持ツベキモノナラバ持ツト云フ場合ニ、今御話ノ如クヒドクナクテモ、割合ニ町村ニ依ッテハ區々デアリマスガ、比較的給與ノ宜イ吏員ヲ澤山備フ府縣モアル、ソレカラモウ一ツハ其ノ仕事ヲヤル時ニ、序ニ之ヲ併セテヤッタラ地方團體トシテ役ニ立ツト云フコトモアリ、是ハ單純ニ無用ナコトヲ贅澤ニシテ居ルカラ金ガ掛カルト云フ譯、バカリデモアリマセヌ、ソレハ國デヤッテ宜イモノモアリマスガ、國費ト地方費ノ負擔ノ上ニ於テ、比較的經費ノ少イ町村ガヤル場合ト同ジヤウニ見テ負擔スルカト云ヘバ、サウモ行兼ネル場合モアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデ、サウ濫ニ流レルト云フコトヲ申上ゲタ意味デハアリマセヌ

○委員長(伯爵酒井忠正君) ソレデヤ此ノ程度デ休憩致シタイト思ヒマス、午後八大藏大臣ノ御都合モアルヤウデアリマスシ、又豫算委員會デ秘密會ガアルノデ、ソレニ出席シタイト云フ御希望ノ申上アルカラ、此ノ邊ヲ考ヘマシテ、二時半カラ開キタイト思ヒマス、是ニテ休憩致シマス

午後零時十六分休憩

午後二時四十五分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 是ヨリ開會致シマス、大河内子爵ノ御質問ニ對シマシテ大東亞省ノ政府委員ヨリ御答辯ガゴザイマス

テ新シイノデゴザイマスルノデ、其ノ財政ハ決シテマダ完全ニ整頓シテ居ルト云フ所ニハ參ッテ居ラナイデアリマシテ、現ニ昨年迄ハ一年間ヲ通ズル豫算ト云フモノヲ作ルニ至ッテ居リマセヌ、半年ヅ、ノ豫算ヲ作ッテ居ルト云フ狀況デアリマス、併シナガラ其ノ財政狀況ハ極メテ良好デゴザイマシテ、昨年度モ公債ヲ發行スルト云フコトハナカッタノデアリマス、又本年ニ於キマシテモサウ云フ豫定ハナイヤウニ聞イテ居リマス、一昨年御承知ノ米英ノ資産凍結ト云フ事實ガアリマシテ、是カラ對外貿易ト云フモノモ減ッテ參リマシテ、其ノ爲ニ支那政府ノ大キナ收入デアリマスル所ノ關稅收入ガ相當減ッテ參ッタノデアリマス、更ニ一昨年ノ大東亞戰爭勃發ニ依リマシテ、是等第三國貿易ト云フモノハ、支那ニ於キマシテモ殆ド無クナツタト云フヤウナ狀態デアリマシテ、左様ナ關係モアリマシテ、收入ハ相當ニ減タノデアリマス、又他方ニ於キマシテ、是等ノ諸般ノ情勢ニ伴フ舊法幣ノ暴落、ソレニ伴ヒマシテ新法幣ノ價值モ下落致シマシテ、從ッテ又物價モ騰ッテ來ルト云フコトニ相成リマシテ、ソレ等ノ關係カラ致シマシテ政府歳出モドウシテモ膨脹セザルヲ得ナカッタノデアリマス、此ノ間ニ於キマシテ、歳出入ノ均衡ヲ得ルト云フコトハ、ナカク骨ガ折レタコトト思フノデアリマスルガ、國民政府當局ニ於キマシテモ、能ク其ノ均衡ヲ得ル爲ニ有ラユル努力ヲ致シマシテ、各種ノ内國稅ノ適當ナル増徴モ致シ、其ノ他徵稅上ノ改善等モ行ヒマシテ、サウシテ歳出入ノ均衡ヲ得ルコトガ出來テ居ルノデアリマシテ、先程モ申上ゲマシタヤウニ公債發行ノ途ニ依ル必要ガナカッタト云フ狀

況ニ在ルノデアリマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メテ

○政府委員(宇佐美珍彦君) 次ハ華北政務

委員會ノ財政デゴザイマスガ、是亦以前ノ

北京ニ出來マシタ臨時政府ノ財政ヲ引受ケ

タト云フ關係モアリマシテ、當初ハ相當ノ

經費モ要シタデアリマス、併シナガラ華北

ニ於キマシテモ、健全財政ト云フ主義ヲ堅

持致シテ居ルデアリマス、華北ニ於キマ

シテモ、一昨年ノ資産凍結令竝ニ大東亞戰

争ノ勃發ト云フコトニ依リマス影響モアッ

タノデアリマスルガ、唯北支ニ於キマシテ

ハ、外國貿易ト云フモノガ占メル地位、殊

ニ第三國貿易ガ占メル地位ト云フコトガ、

中支程大キクナイト云フ事實モゴザイマス

ルシ、又華北政務委員會ノ歲入ノ中ニ於キ

マシテ、關稅ノ占メル地位ガ中支程大キク

ナイ、即チ外ノ統稅、或ハ鹽稅ト云フヤウ

ナ他ノ内國稅ガ大キイデアリマス、サウ

云フ關係モゴザイマシテ、一昨年ノ資産凍

結令及ビ大東亞戰爭勃發ノ影響ハ中支程大

キクナカッタデアリマス、從ッテ華北ノ財

政ハ、今日迄相當裕ニ行フコトガ出來テ居

ルノデアリマス、從ッテ一般會計ニ於キマシ

テハ今日迄公債ハ發行致シテ居リマセヌ、

投資會計ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、

是ハ公債モ幾分ゴザイマスケレドモ、是ハ

特別會計ノ投資ノ爲デゴザイマス、一般會

計デハ公債ハ發行致シテ居リマセヌ、今後

モ大體サウ云フコトヲシテ行カレルノデハ

ナイカト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メテ

○政府委員(宇佐美珍彦君) 以上申上ガマ

シタヤウナ狀況デゴザイマシテ、蒙臨ノ方

モ大體ニ於キマシテ、詳シイコトハ省略致

シマスルガ健全財政ヲ維持シテ居リマス、

是モ最初ハ相當財政上困難ナ狀況ガアッ

ノデアリマスルガ、政府當局ノ努力ニ依リ

マシテ、今日デハ借入金等ヲ要セズシテ、

收支ノ均衡ヲ得ルト云フコトニ事實相成ッ

テ、歲入ノ増加、歲出ノ節約ト云フコトニ

努メテ行クコトヲ考ヘマシテ、ソレニ依リ

マシテ、健全ナ財政ヲ維持シ得ルコトヲ考

ヘテ居ル次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ支那ノコトハ大

變詳シク御説明下スツテ有難ウゴザイマシ

タガ、尙此ノ稅ハ將來自然增收トシテモ

段々増シテ來ル餘地ガアリマセウカ、ソレ

トモ尙此ノ他ニ増稅ヲスル、或ハ新稅ヲ起

スト云フヤウナコトデ、増加サセルト云フ

餘地ガアリマセウカ、但シ無論前提トシ

テ、誅求ニナツテシマッタリ或ハ相剋摩擦

ヲシタリスルト云フコトハ、是ハ止メナケ

レバナリマセヌガ、サウ云フコトデナク、之

ヲ増スヤウナ、増サレルヤウナ見込ガアル

デセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(宇佐美珍彦君) 御答ヘ致シマ

ス、何ト申シマシテモ、マダ支那ノ財政、

殊ニ租稅方面ノ制度ハ完備致シテ居ラナイ

ノデアリマス、支那ノ政府當局ニ於キマシ

テモ、ソレ等ノ稅制竝ニ、殊ニ其ノ租稅徵

收機關等ノ整備ト云フコトニ付テハ、非常

ニ熱意ヲ持ッテ居ルデアリマス、又サウ云

フ譯デゴザイマスルカラ、就中此ノ徵稅機

關ノ整備ト云フヤウナ方法ニ依リマシテ、

現在ノ率ヲ以テマシテモ、相當程度ノ歲入

増加ヲ實現シ得ルモノト想像サレルノデア

フ譯デゴザイマスルカラ、就中此ノ徵稅機

關ノ整備ト云フヤウナ方法ニ依リマシテ、

現在ノ率ヲ以テマシテモ、相當程度ノ歲入

増加ヲ實現シ得ルモノト想像サレルノデア

リマス、又租稅其ノモノノ體系ニ付キマシテ

モ、漸次整備サレルコトト思ヒマス、今日

ハ主トシテ先程申上ガマシタヤウニ關

稅、統稅、鹽稅ト云フヤウナ間接稅、消費

稅ノ性質ノ租稅ガ大部分ヲ占メテ居ルノ

デアリマス、漸次他ノ種類ノ租稅制度ヲ完

備シテ行クト云フコトニ相成ルコトヲ考ヘ

テ居リマス、ソレ等ノ方法ニ依リマシテ、

稅收ト云フモノモ今後相當増加サレルコト

ト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 稅ノ收入ハソレデ分

セウカ、第一ドウ云フ、主ナ收入ノ取レサ

ウナ敵産ハドウ云フモノデセウカソレヲ伺

テ、ソレカラ又個別的ニ收入ヲ増スヤウナ

モノガアルナラバ御話ヲ願ヒタイ

○政府委員(宇佐美珍彦君) 敵産ニ付キマ

シテハ、是ハ其ノ敵産ノ中、支那政府ニ移

管サレマスル所ノ敵産ニ付キマシテ、支那

政府自身トシテ、之ニ依ッテドレダケノ收入

ヲ得ルカト云フコトハ、實ハマダハッキリ致

シテ居ラナイノデゴザイマス、唯併シ是等

ノ敵産ガ支那側ニ直ク返還サレ、サウシテ

ソレガ適當ニ運用サレルコトニ依リマシテ、

支那ニ於ケル生産ト云フモノガ幾分デモ増

加サレル結果ヲ來シマスルナラバ、又サウ

云フコトニナルコトヲ私共ハ希望致シテ居

ルノデアリマスガ、サウナルナラバ其ノ結

果トシテ稅收ノ増加ト云フヤウナ結果ヲ招

來スルコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 移管サレタ敵産ト云

フノハドンナモノデセウカ、又將來移管ス

ベキ敵産ト云フモノハドウ云フモノデセウ

カ、御差支ナイ限り宜シウゴザイマス

○政府委員(宇佐美珍彦君) 各種ノ敵産ガ

ゴザイマスルガ、或ハ碼頭等モ支那側ニ還

スモノモゴザイマス、又各種ノ紡績其ノ他

ノ工場モゴザイマス、其ノ他難多ナ生産工

場等ガ非常ニ多イノデアリマス、其ノ他尙

非常ニ數ト致シマシテ多イノハ文化施設デ

ゴザイマス、英米ガ從來支那ニ於テ運營シ

テ參リマシタ學校トカ、教會トカ、サウ云

フヤウナモノガ非常ニ澤山ナ數ニ上ッテ居

ルノデゴザイマス、サウ云フヤウナモノガ

大體返還サレル、返還ト申シマスルカ、支

那側ニ移管サレルコトニ相成ッテ居ルノデゴ

ザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマス、文化

施設ハ還ス、文化施設ニ非ザルモノハ還サ

ナイト云フコトニナリマス、文化施設カ

ラハ先ヅ財政的ニ言ヘバ收入ハ出ナイト見

テ宜イ、文化施設ニ非ザルモノカラハ、即

チ移管セラレザルモノカラハ收入ガ出ルト

思ヒマス、其ノ御見込ハ、是ハ當然日本デ

取ッテ宜イト思ヒマスガ、其ノ御見込ハ分リ

マセヌカ

○政府委員(宇佐美珍彦君) 御答ヘ致シマ

ス、文化施設カラハ恐ラク、餘リ收入ハ得ラ

レナイガラウト考ヘルノデアリマスガ、併

シハ固ヨリ收入ヲ得ルト云フ目的ノ爲ニ

國民政府ニ還スノデハナイノデアリマス、

支那人ノ爲ノ文化施設デアリマスレバ、日

本側デ特ニ必要トスルモノハ別ト致シマシ

テ、一般ノ文化施設ハ支那側ニ還スト云フ

ノガ、是ガ適當グラウト考ヘルノデアリマ

ス、其ノ他ノ産業關係ノ施設デゴザイマス

ガ、是モ相當ナモノヲ支那側ニ還スコトニ
ナツテ居リマス、從ツテ或程度ノ收入ト云フ
コトハ考ヘラレルカト思ヒマスルガ、是ハ
要スルニ其ノ施設ヲ如何ニシテ運營スルカ、
即チ支那側ニ移管致シマシタ後、ソレ等ノ
施設ヲ如何ニシテ運營スルカト云フコトニ
繫ルノデゴザイマスカラ、ソレ等ノ點ガ明
確ニ相成リマセヌ今日ニ於キマシテハ、ソ
レニ依ツテ位ノ收入ガ得ラレルカト云フ
ヤウナコトハ、チヨット今日判斷シ兼ネル次
第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、ソ
レデ大概大東亞省ノ政府委員ニ對スル質問
ハ、先ツ其ノ位宜カラウト思ヒマス、實
ハ南洋ノ、南方ノ方モ伺ヒマシタモノデス
カラ、陸海軍省カラモ態々オイデ下サイマ
シテ、誠ニ喜ンデ居リマス、御差支ナイ限
リニ於テハ、只今大東亞省ノ政府委員ニ質
問シマシタ如ク、御管轄ノ中ニ於ケル今ノ
歳入歳出ノ現状、又將來ソレハ如何ナル程
度迄歳入ヲ増加シ得ルヤ、又其處ニアリマ
ス敵産ハ日本ノモノニナラウト思ヒマスガ、
ソレカラ生ズル所ノ收入ト云フヤウナ點ニ
付キマシテ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(遠藤武勝君) 速記ヲ止メテ戴
キタイ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ
〔速記中止〕
○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メテ、
大藏大臣ガ御出席デアリマスカラ、ドウカ
大藏大臣ニ對スル御質問ヲ願ヒタイト思ヒ
マス
○子爵大河内輝耕君 ソレデハ大藏大臣ニ
伺ヒタイト存ジマス、ア、云フ風ニ伺ヒマ
シタノハ……是ハ速記ヲ止メテ戴キマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ
〔速記中止〕
○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記開始

○男爵岩村一本君 數回ニ互ル委員會ニ於
キマシテ、大藏大臣竝ニ政府委員カラ公債
ノ消化状態ニ付テ御話ガアリ、非常ニ能ク
消化ガ出來テ居ルト云フコトヲ承ツテ、誠ニ
結構ナコトト思ヒ居リマスガ、此ノ消化方
法ノ一部ト致シマシテ、隣組ノ利用ノコト
ニ付テ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フ
ノデス、委員會ノ御答辯等ニ依リマシテ、
戰爭ニ勝ツコトガ第一義デアルト云フコト
ハ、是ハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、ソレ
ガ爲ニハ公債ノ消化ニモ一般國民ガ極力協
力スル、是ハ勿論國民ノ義務デモアリ、當
然ノコトデアリマスガ、大勢ノ國民ノ中
ニハ、隣組カラノ割當テラレタ公債ヲ、是
ハ消化シ切レナイ、言葉ヲ換ヘテ申シマス
ルナラバ、其ノ公債ヲ買ヒ切レナイト云フ
方モ中ニハ無イコトハナイト云フコトヲ聞
イテ居リマス、東京市内ノ區ニ依リマシテ
ハ、公債割當方法ガ區ニ依ツテ違フト云フコ
トヲ聞イテ居リマス、例ヘバ或區デハ昨年
ノ暮ニハ市民稅ノ八倍、今度ハ又市民稅ノ
四倍ト云フ所モアルト云フコトデアリマス
ガ、區ニ依リマシテハ市民稅ニ基カナイ
デ、市民稅ニ據ラナイデ割當ニシテ居ル所
ノ區モアル、市民稅ト云フモノハ何ガ基準
デアルカト云フコトハ、私チヨット分リマ
セヌガ、兎ニ角前年ノ市民稅ヲ本ニシテ居
リマスコトハ、外ノ徵稅方法ト同ジデアラ
ウト思ヒマス、實際割當ノ時ニ失業シテ居
ルトカ、要スルニ賄ヒ切レナイヤウナ人が
アレバ、此ノ負擔ト云フモノハドウモ出來
兼ネルノデヤナイカ、サウ云フヤウナ時ニ、

其ノ人ガ隣組ニ是々ノ事情ガアル、斯ウ云
フコトヲ申シマス、隣組ノ方デハ、イヤ
ソレハ町會カラ割當ガアル、町會ノ方ヘ行
ケバ、區ノ方カラ割當ガアル、斯ウ云フコ
トデアリマシテ、ソレナラバ東京市内全體
ハ、全區共此ノ市民稅ガ基準デ以テヤツテ居
ルカト云フト、必ズシモサウデハナイ、或ハ
又隣組ニ斯ウ云フヤウナ事情ヲ申立テマス
ト、或ハ非國民呼バハリヲサレルト云ツテ
困ツタト云フヤウナコトモ申シテ居リマス
シ、ソレカラ又其ノ非國民呼バハリサレタ
ト云フヤウナ方々ノ所デハ、立派ニ戰地ニ
將兵ヲ送ツテ居ルト云フヤウナ家庭モアル
ノデ、困ツテ居ル家庭デハ一時融通或ハ又
借金ヲシテ之ヲ買ツテ、形ダケハ整ヘテ居ル
向モアルト云フコトデアリマスガ、此ノ際
公債ヲ應分、又應分以上持テラゲテ持ツト
云フコトハ、是ハ皆ノ國民一般ノ氣構ヘデア
ラウト思ヒマスガ、實際ニ當リマシテ、
斯様ナ種々ノ事情ガアルノデアリマシテ、
下世話ニ申ス通り有リサウデ無イモノハ
金、無ササウデ有ルノハ借金、斯ウ云フコ
トヲ申シマスカラ、斯ウ云フヤウナ氣ノ毒
ナ特殊ノ人ニハ、隣組ト申シマスカ或ハ又
町會ト申シマスカ、斯ウ云フヤウナ事情ヲ
斟酌シテ御取扱ニナルト云フ風ニナスツタ
ラ如何デスカト云フコトヲ伺フノト、斯ウ
云フヤウナ氣ノ毒ナ方ニ振當テラレタ公債
ハ、持ツコトガ出來ル餘裕ノアル人ニ振向
ケタラドウカ、斯ウ云フ風ニモ思ヒマス、
ソレカラ又市民稅ニ何故據ラナケレバナラ
ナイカト云フコトト、ソレカラ市民稅ニ據
ルノナラ、東京市ハ全區共是ハ市民稅ニ據
タラ宜イノデハナイカ、又何カ、市民稅デ
ハイケナイ、他ニ割當ノ方法、基準トナル

○國務大臣(賀屋興宣君) 今ノ御質問ハ誠
ニ御尤モノ御質問ト思ヒマス、是ハ公債ノ
隣保割當消化ノミナラズ、所謂此ノ地域組
合ノ貯蓄全體ニ付キマシテ共通ノ問題デアリ
マス、只今ノ國民貯蓄ハ、國債ノ消化資源
竝ニ戰爭ニ是非必要デアリマスル生産擴充
資金、此ノ兩者ヲ目標ト致シテ居リマシテ、
其ノ金額ハ十七年度二百三十億圓、十八年度
二百七十億圓ト云フ状態デアリマシテ、租稅豫
算額ノ三倍四倍ニ近イト云フ數字デアリマ
ス、之ヲ第一ニ御考ヲ願フコトガ必要デア
リマス、詰リ租稅ノ三倍モ四倍モノモノガ
出來ナケレバナラス、サウ云フコトハドウ
云フコトデアルカト云ヘバ、各人ガ、各家
庭ガ最大限ニ於テ貯蓄ヲシナケレバナラス、
生活モ切詰メテ行カケレバナラス、斯ウ
云フ問題デアアルノデアリマス、從ツテ此ノ一
律標準デハ到底行ケナイ問題デアルト云フ
結論ニナルト思ヒマス、其ノ理由ハ、例ヘ
バ同ジ三千圓ノ收入ガアリマスレバ、今多
少家族其ノ他デ控除ハアリマスルガ、大體
舊來ノ稅ハ其ノ所得ヲ標準ニシテ課稅ヲ致
シマシテ、同金額ヲ納メルモノデアリマス、
ソレモ段々所得稅ガ重クナリマシタカラ、
家族控除ナドト云フコトヲ考ヘマシテ、家
族數ニ應ジテ控除スルト云フ風ニ、稅デモ
單純ナ一ツノ標準デ掛ケタノデハ、モウ既
ニ稅率ガ高イカラ工合ガ惡イト云フ所迄參
テ居リマス、サウ致シマス、ドウシテモ
貯蓄デハ、前申上ガマシタ各人毎ニ稅ノ三
倍四倍ト云フ譯デアリマセヌガ、全體ト
シテ三倍四倍ト云フモノヲ稅額ニ比シテ取

ル位デアリマスルカラ、餘程其ノ家庭、其ノ人々ノ狀態ニ應ジテ等差ガアツテ行カナケリヤナラス、斯ウ云フコトニ相成ル譯デアリマス、從ツテ或ハ市民稅ヲ標準ニシ、或ハ所得ヲ標準ニシ、其ノ他一ツノ標準ヲ用ヒテ居リマスルガ、是レ皆誤リデアリ、不當デアリマス、假ニ三千圓ノ收入ガアル人、二ツノ家庭ヲ取ツテ見マシテモ、家族ノ數ノ大小ニ依ツテ、既ニ生計ニ必要ナ金額ハ幾ラ、最小限度ト致シマシテモ是ハ違フ譯デアリマス、後全部ヲ貯蓄スルニ致シマシテモ、ソコニ貯蓄額ノ等差ガ出テ來ナケレバナナイ、又家族ガ同ジデアリマシテモ、其ノ家族ニ看護ヲ要スル、長ク病臥スル病人ガアルト云フヤウナ場合ニ又違ヒマス、又相當ノ年齢ノ子供ガアリマシテ、是ガ高等專門教育ヲ受ケル、特ニソレガ他ノ地ニ出マシテ、或ハ寄宿シ、下宿ヲシテ、毎月一定額ヲ親カラ仕送リヲ受ケテ教育ヲ受ケルト云フヤウナ場合、ソレガ有ルノト無イノトハ非常ナ負擔ノ差ガアリマス、ソレカラ只今デハ家屋ノ所有ヲ致シテ居ル場合、家賃ノ相當額ハ加味シテ居リマセヌ、從ツテ住宅ヲ所有シテ居ルカドウカト云フコトニ依ツテモ大變其ノ貯蓄力ガ違フト思ヒマス、是等ノ比較的、繼續ノ理由デ、貯蓄總額ハ違ヒマス同時ニ、又時ニ所謂吉凶禍福ガアリ、病人ガアルト云フコトデ、一時的ニ貯蓄ノ、或ハ公債ノ消化能力ガ違フ譯デアリマス、又今迄學校へ行ツテ居リマシタ者ガ反對ニ就職スル、遊シテ居リマシタ者ガ軍需工場ニ行クト、斯ウナリマシテモ、又非常ニ貯蓄能力ガ違フ、其ノ反對ノ場合ニハ減ル、ソレ等ノ事情ヲ皆勘案ヲシマシテ、出來ルダケ多クノ貯蓄ガ出來ルヤウニ、出

來ナイ所ハ假ニ收入ガ同ジデモ等差ヲ付ケテ行クヤウニナラナケレバ、實情ニ應ジテ最大限ノ、今目的トスル貯蓄ニ應ズルコトハ困難ナリト、斯ウ云フ狀況デアリマス、從ツテ此ノ隣保組織ニ於テ其ノ世話ヲシマス假ニ隣組長ナラ隣組長ト云フモノガ、能ク各家庭ノ狀態ヲ心得、ソレニシマシテモ、家庭ノ臺所ノコトデアリマスカラ隅々迄ハ分リマセヌカラ、各家庭ソレ自身ニ於テ、最大限誠意ヲ以テヤル、此ノ兩方ガ合ヒマシテ、初メテ本當ニ出來ル譯デアリマス、處ガ其ノ作用ハ、田舎農村ナドニ於キマシテハ、比較的隣保ノ狀況ガ能ク分ツテ居リマシテ、理想的ニ參リマセヌデモ餘程ソレニ近イ作用ガ行ハレル譯デアリマス、東京ナドニナリマスト行ハレニクイ、ソレモ東京デモ餘程私共ガ知ツテ居リマス範圍デモ、下町ト山ノ手デハ非常ニ違フノデアリマス、下町ナドハ比較的隣リ近所ノ様子ガ分ツテ居リマス、昔カラ隣リ近所ノ附合ヒモアリマシガ、山ノ手附近デハ、東京ノ方ナドデハ、何十年隣同志ニ居ツテモ御互ノ顔モ知ラナイ、顔ハ覺エテ居ルガ挨拶モシナイト云フヤウナ狀態デ、ズツト近年迄ハ參タノデアリマス、ソコハ隣保組織ガ出來マシテ、防空モヤレバ生活必需品ノ配給モヤル、貯蓄ノ問題、公債ノ割振りモヤル、斯ウナリマシタ爲ニ、國債消化ノ體制ハ今申上ゲマシタヤウナ適切ノ標準ガ付キニクイ、ソレデ何モ據リ所ガナイカラ、不完全ナガラ先ヅ市民稅ヲ採ルトカ、所得額ヲ採ルトカ、或ハドウナルトカ、詰リ實際ニ適シナイ、據リ所ガナイカラ、已ムヲ得ズサウ云フコトヲ採用シテ行クト云フ狀態ニ相成リマシタ、併シ是ハ今申上ゲタヤウニ、事實

ソレデハ不適當デアリマスカラ、假ニ據リ所ガナイカラソレデヤリマシタ場合ニ、出來ナイ理由ガアリマシタラ、出來ナイ理由ヲ訊イテソレダケ減額シ、又ソレ以上出來ル狀況モ段々ニ隣組等ノ組織ノ中デハ事情ガ能ク分ツテ參リマスカラ、ソコニ増サウト云フヤウナコトヲ是非シナケレバナラス、處ガソレハ、現在マダ隣組ノ發達ガ新シイ時代デアリマシテ、世話ヲスル人ニモ十分ソレ等ノ趣旨ガ徹底シマセヌ爲ニ、ソレガ思フヤウニ行カナイノガ澤山アル、ソコデ又世話ヲスル人ノ氣持ガ、比較的人ノ事情ヲ嚙ミ分ケル人モアリ、嚙ミ分ケナイ人モアル、從ツテソコニ非國民呼バハリモ出テ來ル、混雜モ起ル、又各家庭ニ於キマシテモ、國債ノ、貯蓄ノ重要性ガ分リマセヌデ、唯寄附ニ應ズルト云フヤウナ氣持ノアル部分モ或程度手傳フヤウナ所ガアルコトナコトガ今アリマス惡イ方ノ狀況ダト思ヒマス、併シ一面ハ町會長或ハ隣組長ニ適切ナ人ガアリマス場合ニハ、熱心ニ、ソレ等ノ點ノ趣旨ガ分ツテ居リマスカラ、實情ニ應ジテ是等ヤラウ、ヤリ易イヤウニヤラウト云フ工夫ヲシマシテ、最モ簡單ナノハ、極メテ熱心ニ度々割當ニ應ジナイ人ノ所ニ行ツテ説ク、説ケバソコデ自覺ヲシナイ人ハ自覺ヲシ、又出來難イ事情ノ者ガ分レバ、ソコデ適當ノ斟酌ヲ加ヘルト云フヤウナコトデ、相當圓滿ニ行キナガラ、多クノ實績ヲ擧ゲテ居ルト云フノモ非常ニ多イノデアリマス、ソレデ各區ノ狀態ヲ見テミマス、割當消化ノ成績ノ宜イ所ハ何時モ宜シイ、何時モ割當額ノ百分ノ百若シクハソレ以上出來マスガ、サウ幾回モ行ク譯ハナイ、處

ガ全體ガ良イ所ハ何時モ宜イシ、惡イ所ハ何時モ惡イ、詰リ是ガ今申上ゲタヤウニ行ク方法ガナイノデハナイ、現ニアルノデハアルガ、詰リソレニ適當ナ人ガナイ爲ニサウ行ツテ居ナイノデアリマス、ソレデソレ等ノ狀況ヲ考ヘマシテ、私共ハ斯ウ云フ風ニ持ツテ行キタイト思ヒマス、市民稅ト云フトモ一ツノ標準デアリマセウ、所得額ト云フコトモ一ツノ標準デアリマセウ、色々サウ云フ風ナ、先ヅ惡ク言ヘバ一ツノ杓子定規デアリマセウガ、一ツノ定規ニナルモノヲドノ位ニ重キヲ置イテ行クカ、ソレ一點張りデ行クト云フコトハ間違デアルガ、ドレ位斟酌スルカト云フコトデ、先ヅ役所デ言ヘバ一ツノ標準ヲ立テ、行クヤウナモノヲ更ニ決メテ行キタイ、ソレデ參リマシテモ、ドウシテモ過不足ハアリマス、行過ギガアリマス、行キ足りナイ方ハ苦情ハ出マセヌガ、公債ノ消化ノ目的ヲ達スルニハ非常ニ不十分デアリマスカラ、ソレヲ個々ノ事情ニ應ジテ斟酌スル判斷ノ資料、例ヘバ先程申上ゲマシタ家族ノ狀況等色々ノコトヲ考慮ニ入レテ、或ハ他ノ方法デ餘計貯蓄シテ居ル人ハ是モ考慮ニ入レルト云フヤウナ、指導者側ト申シマスカ、隣組長ナリ町會長ナリ地方ノ部落會長ナドガ、如何ニ之ヲ考ヘテヤツテ行カウカト云フコトヲ、色々コチラノ氣ノ付クダケハ示シマシテ、其ノ人ノ工夫實踐ニ俟ツ、ソレカラ各個ニモ此ノ國債消化、貯蓄ノ重要性ノ認識ヲ徹底サセル、斯ウ云フ方向ニ行キタイト思ヒマス、サウ云フ風ナ末梢的ナ指導法ト云ヒマスカ、末梢ト云フ言葉ハ惡イ意味ノコトデナク、第一線ト申シマスカ、ソレニ付キマシテ尙考ヘテ居リマスコトハ、私共忙シイ間ニ接

觸シマシタ町内會長トカ或ハ隣組長ノ人々
ノ中ニ、實ニ色々適切ナ工夫ヲシテ、先ヅ
収入ヲ増サス爲ニハ内職ノ斡旋ヲシ、支出
ヲ減ス爲ニハ、其ノ區域ニ於ケル所謂冠婚
葬祭ト云フモノヲ極メテ質素ニヤル方法ヲ
申合ハセル、申合ハセルト云フコトハ、詰
リ世間ノ振合ガアリマスカラ、自分ダケハ
此ノ際ダカラ斯ウ云フ風ニヤラウト云フコ
トデヤリ得ル人モアリマスガ、又ソコ迄心
持ガ行キ得ナイノガ多數ノ人デアリマス、
ソレガ行キ得ルヤウニ風習其ノモノヲ改メ
テ、又改メルニ付キマシテモ其ノ簡易ナ方
法、例ヘバ婚禮ナラバ少イ費用デ出来、式
場ノ用意カラ又着物ノ用意カラ、場合ニ依
リマシテハ貸衣裳ノ方法ヲチャント講ジテ
居ル町内會モアリマス、サウ云フ風ナ風習
自體ヲ改メ、又改メタモノハ實行出来ルヤ
ウナ手段迄備ヘテ行クト云フ風ニヤッテ居
ル所モ随分アリマス、其ノ他奨メ方其ノ他
デ非常ニ良ク周到ナル注意、施策ヲ熱心ナ
ル誠意ニ依ッテ實現サレテ居ルノガ多イノ
デアリマス、ソレガ又皆數字ノ結果ニ現レ
テ居リマスカラ、サウ云フ人々及ビサウ云
フコトヲヤリ得ル人々ノ指導員ヲ澤山作り
マシテ、ソレハ無論専門ノ指導員デナク、
皆業務ヲヤリナガラ、自分ノ町會ノ世話ヲ
ヤリナガラ、思フヤウニ行ッテナイ町會ノ
方ニ教ヘニ行キ、斯ウ云フ工夫ヲシタラズ
ウナル、私ガヤッテ見レバ斯ウヤルト云フ風
ニ指導スル必要ガアル、ソレニハ一番貯蓄
ト云フモノノ戰時的性質ヲ理解シテ貫ハナ
ケレバナラヌノデ、先ヅ地方指導員ヲ作ル
中央指導員ノ講習ヲ東京デ昨年カラ始メテ
居リマス、是ハ多少ノ經費モ要リマスノデ、
今御協賛願ッテ居ル豫算ノ中ニモ計上シテ居

リマスガ、之ヲ全國的ニ作ッテ行キタイ、詰
リ戰時貯蓄問題ト云フモノハ新シイ問題デ、
如何ニヤレバ適切カト云フコトハ寧ろ今考
ヘ持上ゲル時代デ、ソレニハサウ云フ實際
ノ熱心家、良イ工夫ヲシテ居ル人ノ創意ヲ
採ッテ、同時ニ一律的ノ標準デモ今申上ダタ
ヤウニ、先ヅ斯ウ云フコトハ考ヘテ貫ハナ
ケレバナラヌ、其ノ考ヲ持チナガラ實際
工夫シテ貫ヒタイ、官廳貯蓄ニ付キマシテ
モ、今申上ゲルヤウニ先ヅ收入ノ程度ヲ考
ヘマスガ、家族ノ數、状態、先程申上ダマ
シタヤウナ色々ノ状態ヲ考慮ニ入レテ、同
時ニ一時的ノ物入りノ金額ノ有ル無シト云
フコトモ考ヘ、又他ニ多クノ貯蓄ヲシテ居
ルカドウカト云フコトモ考ヘテ、所謂標準及
ビ斟酌標準ト云フモノヲ附ケテ、部局長ニ
實行サシテ居リマス、サウ云フヤウナモノ
ヲ出来ルダケ、所謂考ヘ方ヲコチラカラ出
シテ行ク、其ノ上ニ實地ニ適切ナ指導ヲ
ヤッテ行キタイ、此ノ方面ニ非常ニ力ヲ盡シ
テ參リタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマ
ス

○男爵岩村一木君 只今ノ大藏大臣ノ詳細
ナ御答辯ニ依リマシテ能ク事情ハ分リマシ
タガ、實情ニ即シテ、實情ニ應ズルヤウナ
割當ヲセヨ、斯ウ云フ大藏大臣ノ御考デア
リマスガ、ドウモ末梢ニ參リマス、末梢
ト申シマスガ、市或ハ區、町ト云フモノハ、
能ク大藏大臣ノ意ヲ體シナイト申シマスガ、
或ハ履キ違ヘル人ガアルノデハナイカト思
ヒマスノデ、只今御説明ニナツタコトヲ徹
底スルヤウニ一ツ末梢迄ヤッテ戴キタイ、
私ガ學ガマシタ例ハ東京市ノ區々ノ問題デ
アリマスガ、多分全國ニ互ッテノ問題ニナツ
テ居ヤシナイカ、是ハ臆測デアリマスガ、
ドウカ一ツ其ノ點御注意ヲ願ッテ置キタイ
ト思ヒマス、尙序デアリマスカラ特別行爲
稅法案ノ第五條ノ第五號ニ付テ伺ヒマスガ、
命令事項ハ此ノ參考資料ニ載イテ居リマス
ガ、命令事項ノ第五號關係ノ中デ、一印刷及
製本ニシテ大藏大臣ノ指定スルモノ、斯ウ
云フノガアリマスガ、大藏大臣ノ指定スル
モノハ參考資料ノ中ニ明示シテアリマセヌ
ガ、ドウ云フモノヲ指定ナサル御積リデア
ルカ、又最近商工省管轄ニ於テ隨分統制會
ガ出来テ居リマスガ、是等ノ統制會ノ爲ニ
スル印刷並ニ製本ヲ爲スモノニハ課稅ヲナ
サル積リデアアルカドウカ、又營利ヲ目的ト
シテ居ラナイ所ノ財團法人或ハ又公益法人
等ノ爲ニ爲ス印刷、製本ニハ課稅ヲサレル
ヤ否ヤト云フコト、又是ニハ限度ガアルカ
ナイカト云フコトヲ伺ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 私カラ御答ヘ申
上ダマス、特別行爲稅法ノ第五條第五號ノ
命令トシテ御手許ニ差上ダマシタ中ノ末項
ニ「印刷及製本ニシテ大藏大臣ノ指定スルモ
ノ」トゴザイマスガ、是ハ色々法ノ施行ニ當
リマシテ、印刷及製本ニシテ課稅スルコ
トガ無理デアアル、或ハ實情ニ適シナイト云
フモノガ出テ參リマシタ場合ニ於キマシテ
ハ、大藏大臣ノ指定ニ依ッテ課稅シナイヤウ
ニ致シタイト云フ積リデ設ケテアリマスガ、
差當ッテ考ヘテ居リマスコトハ、例ヘバ大
政翼贊會ト云ツヤウナ團體ノ致シマス印
刷、製本ノヤウナモノハ、課稅外ニ置クヤ
ウニシテ行キタイト思フノデアリマス、尙
只今御述ニナリマシタ各種統制會ノ致シマ
ス印刷、製本ノ行爲ニ付キマシテハ、只今
ノ所デハ課稅スル見込デ居リマス、尤モ是
等ノ統制團體等ガ政府ノ施策ニ應ジテ活動
致シマスヤウナ場合ニ於テ、政府ト共同デ
印刷、製本ヲスルト云フヤウナ場合ガアル
カト思フノデアリマス、例ヘバ國債ノ消化、
貯蓄ノ宣傳ノ爲ニ、金融統制會ガ大藏省ノ
後援ヲ得テ行動スルヤウナ場合ニ於テ、必
要ナ「パンフレット」類ヲ印刷スルト云フヤウ
ナ場合ニ於キマシテ、金融統制會、大藏省、
斯ウ云フ風ニ二ツ書キマシタヤウナ場合ニ
於キマシテハ、現在廣告稅等ニ於テ免稅シ
テ居ル例ガアリマスノデ、サウ云フヤウナ
場合ハ課稅外ニ致シタイト思ヒマスガ、統
制會ダケノ印刷、製本デアレバ、只今ノ考
トシテハ課稅シテ參リタイ、斯様ニ存ジテ
居リマス

○男爵岩村一木君 サウ致シマス、公益
法人、財團法人ト云フヤウナ營利ヲ目的ト
シナイモノノ爲ニスル印刷、製本ト云フヤ
ウナモノニモ課稅ガアル譯デスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 御述ニナリマシ
タヤウナ公益法人デアリマシテモ、直チニ
ソレガ爲ニ免稅ニナルト云フコトニハ考ヘテ
居リマセヌ、例ヘバ公益法人デ學校ヲ經營
シテ居ルト云フヤウナモノデアッテ、學校ト
云フコトニ該當シテ、案ニ掲ゲテアリマス
ルヤウナ學校デアレバ、ソレハ學校デアアル
ガ爲ニ、印刷、製本ガ免稅ニナルト云フヤ
ウナ譯デアリマス

○男爵岩村一木君 是ニハ金額ノ限度ハナ
イノデアリマスガ、例ヘバ第四條ニハ「寫眞
ノ撮影ニシテ寫眞一組ノ料金ガ一圓五十錢
ニ滿タザルモノ」之ニハ課稅シナイト云フコ
トデアリマスガ、此ノ印刷ニハ限度ハナイ
ノデアリマスガ

○政府委員(松隈秀雄君) 印刷、製本ニ付
キマシテハ、課稅最低限ヲ置カナイコトニ

シテ居リマス

○男爵島津忠彦君 先程モ公債ノ問題ニ付キマシテ御話ガゴザイマシタガ、最近ハ公債ノ發行ガ非常ニ殖エマシテ、而モ國民ハ相當之ニ對シテ負擔ヲ掛ケラレテ居ルノデアリマスガ、尙今後相當ナル公債ガ殖エルト云フコトハ、我々覺悟ヲシテ置ク必要ガアルノデアリマスガ、ソレニ付キマシテ出來ルダケ將來成ルベク買ヒ易イ、國民ガ喜ンデ飛ビ付イテ買フト云フヤウナ、サウ云フ例ヘバ富籤ト云フヤウナモノ、ソレカラ高額ノ割増金ノ附クヤウナサウ云フ債券、サウ云フモノヲ、從來相當問題ニナツテハ居ッタノデアリマスガ、併シ斯ウ云フ際デアリマスノデ、ソシナヤウナモノヲ發行爲スツテハドウカト云フ氣持ヲ持ツノデアリマスガ、政府ノ御意嚮ハ如何デアリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 御答ヘ申上ゲマス、此ノ國債、外ノ債券ニシマシテモ、皆戰時ニ必要ナル資金ノ蓄積增加デアリマス、一面購買力ノ吸收デアリマシテ、詰リ是ハ誠ニ戰爭ノ勝利敗北ソレ自身ノヤウナ痛切ナ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマス、非常ナ眞摯ナル態度デ行カナケレバナラヌ面ガアリマス、アリマスガ御示シノヤウニ矢張り是ハ一ツノ政治デアリマシテ、矢張り或意味デアリマスガ、國民ノ注意ヲ惹イテ、購買心ヲ唆ルト云フコトモ、全然無視スル譯ニ參リマセヌ、參リマセヌガ矢張り大體ハ前ニ申上ゲタヤウナ性質デアリマシテ、結局國民ノ自覺ニ俟チマス結果、大部分ノモノハ眞面目、ト云フテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ眞面目ナ方ニ行ク、農村等ノ氣分ニ致シマシテモ、割増金ノ高イノハドウシテモ割増金ノ當ル場合ガ少イノデアリマス、是ハ兩方ガ多クテ

ハ到底計算ニ乘リマセヌ、ソレヨリモ割増金ガ少クテモ當リ籤ガ多イモノヲ欲スル更ニソレガ少シ徹底シテ參リマス、結局當テ利益ノアル場合モアルガ、當ラヌ場合ニハ殆ド利子モ安イノデアルカラ、チヤント確定利子ノ方ヲ買ツテ行クト云フ健康味ガ相當見エテ居リマス、支那事變以來ノ資金ノ蓄積增加額ハ、國債、株、社債、銀行預金、貯金等合シマシテ既ニ六百八億餘ニナツテ居リマスガ、是ハ千億ニナリマスノモ、私ハ十九年中ノ或時期ダラウト思ツテ居リマスガ、段々多クノ人ガ相當自分ノ財産ニナツタ、庶民階級デ千圓モ溜ツタト云フヤウニナリマス、非常ニ著實性ノ方ガ殖エテ來ルダラウト思ヒマス、相當ニ今其ノ傾向ヲ表シテ居リマス、併シナガラ矢張り多少國民ノ中ニハ、一面射倖心ト申シマスルカ、サウ云フモノニ魅力ヲ感ズルコトガ又實際アルト云フコトモ、是ハ良クモ惡クモ事實ナシデアリマス、ソレデサウ云フ方法ヲ多面的ニ致シマシテ、矢張り一番重モナカハ普通ノ國債デアリ、社債デアリ、株券デアリ、郵便貯金、銀行預金デアリマス、一面サウ云フ風ナ割増金ノ色彩ヲ加味スルト云フ意味デ、現ニ比較的割増金ノ金額ヲ少ク、當籤ノ比較的多イ方ガ貯蓄債券デアリマス、金額ガ多ク當籤ノ場合ガ少イノハ報國債券、又彈丸切手モ出テ居リマスガ、今以上ニ非常ナ高率ナ割増金ヲ附ケル、殆ド利子ハ附カナイト云フ風ナモノヲモ又出シテ見ル必要ガアルト思ヒマス、本年ハ色々、元金ガ全部還ラナイ、所謂富籤ヲ發行シ得ル權能ハ、今日ノ議會ニ御協賛ヲ願ツテ居ルモノノニハ入ツテ居リマセヌガ、非常ナ高額ノ割増金ヲ附ケ得ル、又預金等ニ付キ

マシテモ相當之ヲ新種ノ割増金附預金モ場合ニ依ツテハ爲シ得ルト云フ風ナ、廣イ意味ノ法案ノ御審議ヲ願ツテ居リマス、貴族院ハ既ニ通過シテ衆議院ニ回付サレテ居リマス、サウ云フ方面デ一部ニ御話ノヤウナ方面モ併セテ實行致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○男爵島津忠彦君 只今ノ御説明デ私満足致シマス

○男爵益田太郎君 大藏大臣ノ御出席ヲ得テ居リマス、此ノ際ニ、私カラ大臣ノ御説明ヲ願ヒタイト存ジマス、今日當委員會ニ於テ審議スベキ法案中ノ一ツデアアル輸出スル物品ニ對スル内國稅免除又ハ交付金交付ノ停止等ニ關スル法律案ニ付デアリマス、此ノ法律案ヲ拜見致シマシテ、私ガ十分了解致シ兼ねマス、申上ゲモナク私ノ認識ガ不足ノ結果ト存ズルノデ、斯テ大臣ノ御説明ヲ煩ハス譯デアリマス、今更申上ゲル迄モナク、一國ノ富力ト申シマセウカ、國富ノ増強ヲ圖ル上ニ於キマシテ、輸出貿易ト云フモノハ頗ル重キヲ置カザルヲ得ザル重要ノ問題デアラウト思フノデアリマス、平時ニ於テモ勿論左様デアツテ、場合ニ依ツテハ事情ガ許シマスレバ國ハ獎勵金ヲサヘ出シテ、其ノ輸出貿易ノ股賑ニ努力ヲスルト云フ事實モアツタノデアリマス、我が國ノ現狀カラ申シマシテモ、現在ハ大藏大臣始メ皆様ハ非常ナ御努力デ財政方面ノコトヲ御心配下スツテ居ラルルコトハ、能ク存ジテ居リマス、感謝ニ堪ヘナイノデアリマス、此ノ際我が國ノ立場ト致シテハ財力ノ増強ト云フヤウナ見地カラ考ヘテ見マス、其ノ商品ノ何タルヲ問ハズ、一ツデモ二ツデモ餘計ニ輸出ヲ圖ルベキガ至當デハナカ

ラウカト考ヘラレル、其ノ見地カラ此ノ法案ヲ拜見致シマス、其ノ國庫收入ヲ增加シテ戰時財政ヲ強化スル等ノ爲輸出スル物品ニ對スル内國稅免除又ハ交付金交付ノ停止等ニ關スル法律ヲ制定スルノ必要アリト云フ理由書ガ認メテアリマスガ、是ガ私ノチヨット理解致シ兼ねル所デ、國富ノ増強ヲ圖ラネバナラヌト云フ場合ニ、其ノ輸出ヲ股賑ヲ妨グルガ如キ傾向ガ起ル内國稅免除又ハ交付金交付ノ停止ト云フヤウナ御案ガ、ドウ云フ御考デ立テラレタモノデアルカ、此ノ御趣旨ヲ承ツテ見タイト思フノデアリマス、簡單ニ申セバ、俗ニ申ス小ノ蟲ヲ殺シテ大ノ蟲ヲ助クルト云フ場合モアルカモ知レマセヌガ、何ヤラ此ノ法律案ヲ唯單純ニ拜見シテ居リマス、小ノ蟲ヲ助ケムガ爲ニ大ノ蟲ガ殺サレヤシナイカト云フ懸念ガ湧イテナラスノデアリマス、又ソレニ關聯シテ承リタイト思ヒマス、此ノ法案ニ關係ヲ持ツ所ノ色々ナ商品ガアリマスガ、是ハ一體最近一箇年ドノ位ナ金額ガ輸出サレテ居ツテ、此ノ法案ノ爲ニ其ノ輸出額ガドノ位減退スルデアラウト云フ御見込カ、又一方ニハ此ノ法案ニ依ツテドレダケ國庫ノ收入ト云フモノガ增加スルモノデアルカ、唯カシ細カイ御研究ガアラレタコト思ヒマス、之ヲ參考ニ承リタイト思フノデアリマス、ソレカラ今度ハ此ノ法案ニ關聯シテ實際問題ニ付テ私ハ伺ヒタイト思ヒマス、舉ガラレタ商品ノ中デ、砂糖消費稅ト云フコトガ謳ツデアリマスガ、糖業ノ立場ナドカラ見マス、例ヘバ日本對滿洲ノ砂糖貿易ノ實情ヲ見マス、御承知ノ通り現在デハ日本ノ原價ト云フモノハ認可制ニナツテ居ル、詰リ製糖業者ニ對シテハ幾ラ、運輸ヤ

何ヤ彼ヤ入費ガ掛リマスガ、ソレ等ハ認可サレテ始メテ實行ニ移サレル譯デアリマス、而シテ一方滿洲ニ於ケル糖價ト云フモノハ、砂糖ノ市價ト云フモノハ、御案内ノ通り公定價格、此ノ日本ノ砂糖ノ原價ト滿洲ニ於ケル公定價格トノ開キガサウ大シタモノデハナイ、ソレニモ拘ラズ茲ニ十四圓五十錢、而モ此ノ度増稅ヲナサラウトスル所ノ十四圓五十錢ト云フ、我ガ國內ノ消費稅ニ匹敵スルモノヲ課稅サレルヤウナ形ニナリマスガ、是デハ到底滿洲ニ對スル砂糖ノ輸出ト云フモノハ、出來得難クナルノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、之ニ對シテドウ云フ御考ヲ持タレマスカ承リタイト存ズルノデアリマス、而モ最近一箇年ノ砂糖ノ我ガ國カラ輸出サレマシタ數量、十七年中ノ計算ヲ見マスルニ、合計百七十六萬七千餘「ピクル」ニナッテ居リマスガ、其ノ中ノ滿洲向ガ七十七萬五千ト云フ少カラザル比率ヲ示シテ居ル、之ガ輸出ガ不可能ニナル虞ガアリハセヌカト云フ懸念ヲ持ッテ居ル、ソレカラ又一方北支ノ狀態ナドヲ見マ

スルニ、北支ハ御案内デモアリマセウガ、最近綜合的原因カラ砂糖ノ市價ガ非常ニ暴騰シテ居リマシテ、和百斤即チ「ピクル」ト稱スルモノガ、天津アタリデハ上物ニナリマス、ト二百六圓五十錢ナドト云フ相場ヲ出シテ居ル、サウ云フ狀態デアリマスルカラ、チヨット考ヘマスルト、十四圓ヤ十五圓ノ金額ナドハ輸出ノ上カラ見テ何デモナイヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、先程申上ガマシタ如ク「ピクル」ノ砂糖ヲ輸出致シマスノデモ、ソコニ介在スル人々、即チ其ノ主ナルモノヲ擧ゲテ見マシテモ、製糖業者モ居レバ、運輸業者モ居レバ、保管業者

モ居レバ、販賣業者モ居レバト云フヤウナ様々ナル立場ノ人ガ介在シテ始メテ輸出ト云フモノガ實行サレテ居ルノデアル、其ノ人々等ノ收入ノ上カラ見マスルト、十四圓五十錢ノ消費稅ト云フモノハ逆モ負擔ニ堪ヘ切レナイ金額デアアルノデアリマス、申シ換ヘレバ誰ガ此ノ十四圓五十錢ト云フ日本國內ノ消費稅ニ匹敵スベキ此ノ金額ヲ負擔スベキデアルカニ依ッテ、如何ニ天津ニ於ケル糖價ガ二百圓以上デアラウトモ輸出ハ出來得難クナル虞ヲ抱カザルヲ得ナイノデアリマス、何レノ方面ニ其ノ負擔ヲ御サセニナル御積リデアアルカ、之ヲ念ノ爲ニ伺ヒタイト心得マス、尙一二伺ヒタイコトモゴザイマスガ、以上申上ガタ點ヲ御說明ニ預リタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 今更申上ガル迄

モナイノデアリマスルケレドモ、一國ガ輸出貿易ヲ獎勵シナケレバナラヌト云フコト、是ハ往時執ラレタ政策、是ハ何ノ理由ニ依ッテ獎勵シナケレバナラヌカ、是ハ要スルニ輸出ヲ致シマシテ、ソレデ外國貨幣ヲ獲得シテ、ソレデ自分ノ國デ要ルモノヲ輸入スル力ヲ増スノガ一ツデアリマス、其ノ増シマ

マセヌガ、其ノ外貨ヲ海外ニ投資致シマシテ、サウシテ其ノ投資カラ得ル實收入ヲ得テ今申上ガマシタ力ヲ養ヒ、或ハ政治的ニハ投資ノ力ニ依ッテソコニ更ニ國力ノ發展ヲ圖ル、今申上ガマシタヤウナ色々ナ理由ガ輸出獎勵デアリマス、其ノ輸出ヲ爲スコトニ依ッテ結局國威ノ發揚デアリ、國力ノ増進デアリ、國民生活ノ現在或ハ將來ノ發展デアリ、是ガ目的ダト存ズルノデアリマス、從ヒマシテ左様ナ目的ガ達シ得ルヤ否ヤト云フコトガ世界ノ經濟、其ノ他國際情勢ノ變轉ニ依ッテ違フ場合ガ生ジテ參リマス、往昔ハ國際經濟ガ自由デアリマス、其ノ本ハ國際情勢ニ戰爭ノ危險ヲ孕ンデ居リマセヌ、金ガアレバ物ガ買ヘル、其ノ物ノ制限ハナイ、何デモ買ヘル、此ノ時代デア

リマスカラ、色々ノ點デ輸出ヲ獎勵シマシテ外貨ヲ獲得スルト云フコトガ必要デアアル、殊ニ我ガ國ノヤウニ既ニ日露戰爭其ノ他ノ原因ニ依リマシテ對外債務ヲ持ッテ居ル場合ニハ、右申上ガタヤウナ積極的ナ理由ガナクテモ其ノ債務ノ元利ノ償還ニモ外貨ガ必要デアアル、世界各國ハ、寧ロソレデ各國ガドンノ輸出獎勵ヲヤルカラ、其ノ輸入ヲ受ケル方ハドウシテソレヲ阻モウカ、高率關稅ヲヤル、自主關稅デ阻モウトスル、ソレハ困ルカラ協定關稅デ以テ其ノ緩和ヲスルト云フ位ナ努力ヲスル、誠ニ御話ノ通りデアリマス、處ガ段々情勢ガ變化シテ來マシテ、爲替管理ト云フコトガ行ハレテ來ル、更ニ貿易管理ト云フコトガ起ッテ來ル、ドウモ斯ウ云フ品物ヲ外國ニ出シテハ自分ノ國ニ必要ナモノガソレダケ減ッテシマフカラ困ルト云フヤウナ點カラ、寧ロ逆ニ

ルノデハナイ、是ガ相手國ニ行クト相手國ノ力ニナル、其ノ力ガ自國ノ政策ニ反スル、ソレダカラサウ云フ物ノ輸出ハシナイ、斯ウ云フ風ニ貿易及貿易ニ關聯致シマスル爲替決濟等ニ付テ自由ニアラザル政策ヲ非常ニ執ルヤウニナリマシタノガ今回ノ世界戰爭ノ……大東亞戰爭前カラ段々ニサウ云フ徵候ヲ呈シマシテ、單純ナ輸出獎勵ガ出來難クナリ、又、シテモ考ヘ物ダト云フ事象ガ、國際情勢ノ變化ニ應ジマシテ段々出テ參リマシタ、ソレデ日本ト致シマシテハ昭和十二年ノ支那事變ノ始マリマス頃ハ、其ノ當初ハマダ米國等カラ自由ニ欲スルモノガ買ヘタ時代デアリマシテ、非常ナ戰力ノ増強、國力ノ増強ノ爲ニ輸出獎勵ヲシナケレバナラヌ、機械ヲ買ヒタイ、油ヲ買ヒタイ、銅ヲ買ヒタイ、「スクラップ」ヲ買ヒタイ、「スクラップ」デヤナイ、鐵ノ鋼材モ入レタイ、入レタイモノガウントアリマスルノ

デ、内地デ少々不自由ヲシマシテモ、生絲其ノ他輸出獎勵ヲシテ外貨ヲ獲得スル、ソレバカリデナク、金ヲ生産スル、是ハ國內的ニハサウモ必要ハアリマセヌガ、結局「ドル」ヲ得ル爲ニ二十四「ドル」幾ラデ向フハ買ッテ呉レマスカラ是デ金ヲ生産スル、是非非常ナ輸出獎勵デアッテ、ソレハ結局銅ナリ何ナリ必要ナモノガ買ヘル、併シ其ノ頃デモ何デモ買フカト云フト、棉花ハ既ニ輸入防遏デアツタ、棉花ヲ買フ資金ハ八億圓モ要ルガ、其ノ中四億圓ハ國內デ加工シテ綿絲綿布ニシテ外國ニ出シテ必要ナモノガ得ラレマスガ、國內デ消費スル四億ハ最少限度ニシテ輸入額ヲ減ジテ、ソレダケ油ナリ、銅ナリ鐵ナリ機械ヲ餘計買フ、斯ウ云フ政策デアリマス、輸出獎勵政策デア

ガ、輸入面ニ於テハ平時ト違フ方法ヲ講ズル、棉花ノ不自由ハ忍ビ得ルガ、ソレニ依ツテ戰力増強ニ必要ナ物資ヲ入レタラシイ、斯ウ云フ政策デ大分轉換シテ來タ、處ガ昭和十六年ニナリマス「アメリカ」ガ資產凍結ヲ致シタ、日本ニ石油ヲヤレバ日本ノ兵力ガ強クナル、日本ニ「スクラップ」ヲヤレバ日本ノ兵力ガ強クナル、日本ノ欲スル物ハ賣ラナイトスレバ、輸出獎勵ヲシテ「アメリカ」カラ「ドル」ヲ取ツテ溜メマシテモ、是ハ一口ニ申セバ何ニモナラナイノデ、此ノ輸出獎勵方策ハ轉換セザルヲ得ナイ、輸出獎勵ヲスル原因ノ其ノ效果方得ラレナイ事態ニナツテ來タ、ソコデ輸出獎勵方策ハ非常ニ轉向ヲシナケレバ已ムヲ得ナイコトニナツタ、況ヤ其ノ輸出物資ノ製造ニ、國民生活ノ必需品、或ハ兵器彈藥ノ製造ニ、直接デモ間接デモ貢獻ヲシマス電力トカ、石炭トカ、努力トカ、斯ウ云フモノヲ輸出物資ノ生産ニ取ラレコト自體ハ、日本ノ戰力減殺デアリマスカラ、寧ロサウ云フ物ハ輸出ヲシナイヤウニスル、ソコデ今ノ經濟ハドウカト申シマス所謂計畫經濟デアリマシテ、交易モ計畫交易デアリマス、色々ノ物ヲ輸出ヲシテ今ハ外貨ヲ得ルト云フヨリモ、「ドイツ」ナリ盟邦ナリガ其ノ戰力増強ニ必要ナモノハ、是ハヤリタイ、又共榮圈內ノ各國ノ國民生活ニ必要ナ物ハヤリタイ、併シナガラ其ノ生産スル爲ニ要シマス原料、材料、努力ト云フモノハ、國內ノ戰力ノ増強、ノミナラズ共榮圈全體ノ戰力ノ爲ニ必要ナル戰力増強ニ要ル……生産ニ要ルモノガ多イ、日本ノ國民生活ヲ切詰メテモ要ルモノガ多イ、非常ニ向フデハ欲シイケレドモ、アレモ欲シイ是モ欲シイト

云フ、ソレハヤリタイガ氣ノ毒ナガラ出シ得ナイ、其ノ出ス程度ヲ此ノ位ノ程度ノ生産量ニ止メテ、其ノ要ル努力物資ヲ制限シテ、ソレヲ戰力増強ノ必要ナモノニ轉用シナケレバナラス、結局交易モ計畫交易デアリマス、今デハモット向フガ欲シイト云フガ、ソレモ是ダケデ我慢シテ貫ハナケレバナラスト云フ逆ナ状態ニ只今ハナツテ居リマス、ソレ等ノコトガ爲替面ニドウナルカト云フト、國內デハ低物價政策ト申シマスガ、純眞ナ適正物價政策、ドン／＼上リサウダカラ、ソレデ相當高イガ、此ノ物價水準ヲ維持シタイ、併シソレデ以テ日本カラ輸出物資ハ全部ガ希望スル如ク參リマセス、又英米系カラ從來入りマシタモノガ入りマセス爲ニ、物資ガ大體ニ於テ缺乏ヲ感ジテ居リマスカラ、我が國カラ行キマスモノハ我が國國內デハ低物價デアリマスガ、向フデハ一躍ニ倍、三倍、五倍、十倍ニナル、是ハ決シテ輸出ニ必要ナ商人ノ正當ナ「コンミッショ」的ノ手數料ノ報償トカ、運賃デアルトカ云フモノドコロデヤアリマセス、其ノ數百倍ノ利得ガアル、其ノ利得ハ實ニ偶然ノ利得デアル、ソコデサウ云フ品物ヲ減ジテ物價調整ガ出來ルカト云フト、日本內地スラナカ／＼思フヤウニイカナイノニ、彼ノ地デ物價統制ナドハ十分ノ一モ出來ルモノデハナイ、物がモット高クナレバ、ソコデ狀況ガ不當デアリマスカラ、是ハ其ノ介在スル商人ノ利得トシテハ甚ダ理由ナク多過ギル、ソコデ輸出品ノ全部ニ輸出價格調整制度ガ始マリマシテ、價格調整料ト云フ今迄ナイモノヲ輸出品ニ取ルト云フコトニナツテ居リマスガ、一方ニ輸入品ハドウデアルカ、支那ノ石炭ト云フモノハ、是ハ安

イモノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ニ向フデ物價ガ上リマス、食料品ガ上リマス、苦力ノ賃銀モ高クナラザルヲ得ナイ、物價ノ割合ニハ石炭ノ費用ハ上リマセス、ト申シマスノハ、元々物價ガ日本ト同ジモノデアレバ、山元ガ二圓三圓出ル費用、併シナガラ物價ガ騰貴シテ、山元ノ費用ニ日本迄ノ輸送賃ヲ加ヘマス、日本ノ炭價ヨリモ高クナル、是ハ棉花ノ如キモノモ高クナル、併シ是ハ非常ニ輸入シナケレバナラス、其ノ商人ガドウシテ其ノ差ガ持テルカ、是ハ持テマセス、向フデ百圓買ッテ、日本デハ五十圓、其ノ差ノ五十圓ヲ補填シナケレバナラス、其ノ補填ノ爲ニ今ノ輸入價格調整制度ヲ作ッテ居ルト云フヤウナ譯デアリマス、ソレ等ノモノガ段々發達致シテ參リマシタガ、自然ノ發達ガ相應致シマセス爲ニ、今回爲替交易調整特別會計ト云フモノガ作ラレマシタヤウナ次第デアリマス、前申上ガマシタヤウニ、出來ルダケ輸出スルト云フ時代ハ去リマシテ、皆計畫的ニ出サナケレバナラス、抛ッテ置キマスト、欲シイ物ヲ「タイ」ニモ中華民國ニモ、佛領印度ニモ或程度分ケナケレバナラス物ガ、支那バカリニ行ツタリ、「タイ」バカリニ行ツテハ是ハ共榮圈ノ存立上困ル、ソコデ自轉車ガ此處へ幾輛、何ガ幾ラト云フヤウニチヤント分ケナケレバナラス、是ガ一ツノ交易計畫デアリマス、其ノ交易計畫ヲ實施スル爲ニハ、バラ／＼ノ貿易業者ニ委シテ置イテハドウモウマク行キマセヌカラ、今回交易營團ト云フモノヲ作ル大キナ趣旨ハソコニ在リマス、ソコデ現在デハモウ輸出獎勵金ト云フモノハ浮イテシマツテ居ル、輸出ハ二千萬圓程度デゴザイマス、織物消費稅

シタ所ノ數倍、數十倍ノ價格調整料ヲ取ラナケレバナラスト云フ風ナ大キナ時代ニナツテ參ッテ居リマス、ソコデ九デ浮イテシマツタノデ、十圓ノモノヲ逆ニ十二圓ノ調整料ヲ取ルノハ何ノコトカ分ラナイ、今迄税金ヲ拂戻シタリ、免稅サレル品物ハ一應別扱デ行キマシテ……ソレヲ別扱デ行キマセスト、國內デ消費サレタノデハ是ハ大變ナコトデアリマスカラ……ソナナ手數ヲ掛ケル意味ガ全然ナクナリマシタヤウナ次第デアリマスカラ、今回、理論的ニ申セバ、之ヲ免稅スレバソレダケ調整料ガ下ル譯デス、調整料デソレ以上ノモノヲ取ツテ居ル、ソレヲ一負ケテ十取ルヨリモ、初メカラ九取ッタ方ガ宜イノダ、斯ウ云フヤウナ觀點カラ今回大體行ヒマシタヤウナ次第デアリマス、砂糖ノ如キモノモ現ニ調整料ヲ澤山取ラレテ居ル、今度ノ税金ガ上ルドロコロデハナイノデス、砂糖ノ値モ、今ノ調整料ヲ現在取ッテ居リマスモノカラ、増稅ニナルダケノ調整料ヲ取レバ宜イ、詰リヤリ取り二重ノ手數ガ一度デ済ムト云フ譯デアリマス、尙細部ニ付キマシテハ、政府委員カラ御答ヘ申上ゲマス

○政府委員(松隈秀雄君) 輸出免稅廢止ニ付キマシテ、ドノ位ノ歳入ノ増加ニナルカト云フ御尋デアリマスルガ、初年度ニ於キマシテハ六千萬圓程度デゴザイマス、其ノ中朝鮮分ハ千八百萬圓程度デアリマス、平年度ニ於キマシテハ六千八百萬圓程度デアリマシテ、共ノ中朝鮮分ハ二千二百萬圓程度デゴザイマス、尙此ノ歳入ノ生ジマスル主ナル税目ニ付テ申上ゲマスルト云フト、是ハ平年度デ申上ゲマスルガ、酒稅ニ付キマシテハ二千萬圓程度デゴザイマス、織物消費稅

ニ付テ千六百萬圓程度、物品稅ガ二千六百萬圓程度デ、是ガ殆ド大部分ヲ占メテ居リマス、砂糖ニ付キマシテハ、平年度デ歲入上ノ増加額ハ百七十萬圓程度ナノデゴザイマス、尙此ノ點ニ付キマシテ少シク詳細ニ御説明申上ゲタイノデアリマスルガ、砂糖ノ中ニハ、先程御説明ノアリマシタヤウニ、滿洲ニ參リマスモノト、支那方面ニ參リマスモノトゴザイマス、支那方面ニ參リマスモノニ付キマシテハ、現地ノ價格ガ相當高イモノデスカラ、只今調整料ヲ取ツテ居リマスルコトハ、大臣カラ御説明ノアツタ通りデアリマシテ、從ツテ輸出免稅ヲスルト云フコトハ、俗ノ言葉デ言ヘバ、結局從來調整料デ取ラレテ居ッタモノガ、今度税金ノ形ニ振替ハルト云フコトニ過ギナイ狀況デゴザイマス、從ツテ之ガ爲ニ特ニ現地ノ消費者ノ負擔ヲ増ストカ、或ハ輸出ノ妨ニナルト云フヤウナ事情ハナカラウト思ハレルノデゴザイマス、唯滿洲國ニ輸出シマスモノニ付キマシテハ、現在調整料ヲ取ツテ居リマセヌ、滿洲國ニ於キマシテハ、一方低價政策ヲ維持シヨウト云フノデ、目下非常ナ努力ヲ拂ツテ居ル次第デアリマス、ソコデ今回滿洲國ヘノ輸出ノ免稅ヲ廢止スルト云フコトニナレバ、白砂糖ガ百斤ニ付テ十四圓五十錢高クナリマス、是ハ滿洲國ニ取リマシテ相當價格調整上困難ナ問題ガ生ジマスルノデ、本案ノ作製ニ當リマシテハ大東亞省トモ協議致シマシテ、滿洲國ニ於キマシテハ價格調整ノ爲ニ特別ナ平衡資金ヲ設ケテ實行致シテ居ルノデアリマスルガ、其ノ金額モ十分デゴザイマセヌノデ、滿洲國ニ入ッテ來ル砂糖ニ付テ價格上ノ激變ガアルト云フコトニナルト相當ノ困難ヲ感ズ

ル、斯ウ云フ申出ガゴザイマシタノデ、此ノ點ニ付キマシテハ兩省協議ノ結果、當分ノ間滿洲ニ向ケテ出シマスル砂糖ニ付キマシテハ、輸出免稅停止ニ關シマスル法律ヲ除外シ得ルヤウニ運用シテ參リタイト、斯ウ云フコトデ協議ガ出來テ居リマス、第一條ノ但書ガゴザイマシテ「但シ命令ヲ以テ定ムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ」ト斯ウ云フ規定ガゴザイマスノデ、此ノ命令ニ依リマシテ滿洲國ヘノ砂糖ノ輸出ヲ告示シマシテ除外ヲ致ス積リデ居リマスノデ、サウ致シマスレバ砂糖ノ問題ハ大部分解決ガ付クト思ツテ居ルノデゴザイマス、サウ云フ狀態ノ下ニ歲入ヲ見積ツテ居リマスルカラ、平年度六千八百萬圓ニモ及ブ歲入ニ對シマシテ、砂糖カラ上リマスルモノハタツタ百七十萬圓程度シカ見テ居ラス、斯ウ云フヤウナ狀態デゴザイマス

○男爵益田太郎君 大臣始メ主稅局長カラ御丁寧ナ御説明ニ與リ誠ニ感謝ニ堪ヘマセヌ、速記ヲ止メテ戴キマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ(速記中止)

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メテ、ソレデハ時間モ大分經チマシタカラ……

○子爵大河内輝耕君 チョット私、議事ノ進行ニ付テ……私實ハマダ大分質問致シタイ事項ガゴザイマスガ、大藏大臣ノ御都合ハ如何カト存ジマスカラ、是ハ主稅局長ニ御話ヲ致シマシテ、主稅局長カラ大藏大臣ニ御話シ願ヒマシテ、大藏大臣カラ直カニ御答ヘ下サレバ尙宜シ、若シ何ダツタラ主稅局長カラ御答ヘ下サツテモ宜カラウト思ヒマス、其ノ事ダケ御願ヒ致シマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) ソレデハ今日ハ是迄ニ致シテ、明日午前十時ヨリ開會致シマス、今日ハ是デ散會致シマス

午後四時五十九分散會

出席者左ノ如シ

| | |
|------|----------------|
| 委員長 | 伯爵酒井 忠正君 |
| 副委員長 | 男爵東郷 安君 |
| 委員 | 公爵德川 家正君 |
| | 公爵二條 弼基君 |
| | 侯爵井上 三郎君 |
| | 子爵大河内輝耕君 |
| | 子爵西尾 忠方君 |
| | 子爵梅園 篤彦君 |
| | 子爵綾小路 護君 |
| | 子爵牧野 康熙君 |
| | 小倉 正恒君 |
| | 松本 丞治君 |
| | 柴田善三郎君 |
| | 男爵岩村 一木君 |
| | 男爵益田 太郎君 |
| | 男爵島津 忠彦君 |
| | 男爵倉富 鈞君 |
| | 坂野鉄次郎君 |
| | 唐澤 俊樹君 |
| | 安宅 彌吉君 |
| | 野村 徳七君 |
| | 橋本辰二郎君 |
| | 松本勝太郎君 |
| | 中島徳太郎君 |
| | 岩田 三史君 |
| | 中野 敏雄君 |
| 國務大臣 | 大藏大臣 賀屋 興宣君 |
| 政府委員 | 內務省地方局長 古井 喜實君 |

| | |
|---------|--------|
| 內務書記官 | 小林 千秋君 |
| 大藏省主計局長 | 植木庚子郎君 |
| 大藏省主稅局長 | 松隈 秀雄君 |
| 大藏書記官 | 池田 勇人君 |
| 陸軍主計大佐 | 遠藤 武勝君 |
| 海軍主計大佐 | 稻岡 新君 |
| 農林省山林局長 | 井出 正孝君 |
| 厚生省勤勞局長 | 持永 義夫君 |

昭和十八年二月二十四日印刷

昭和十八年二月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局